

男女共同参画に関する市民意識調査  
結果報告書  
【概要版】

太 田 市  
2021年10月

# 目次

<b>I 調査概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査の項目 .....	1
3. 調査の方法 .....	1
4. 集計の方法・結果の見方 .....	2
<b>II 回答者の属性</b> .....	<b>3</b>
<b>III 調査結果</b> .....	<b>5</b>
1. 男女平等について .....	5
問1 性別役割分担意識 .....	5
問2 男女の地位は平等になっていると思うか .....	6
問3 男女平等を阻んでいると思う要因 .....	11
2. 男女の仕事と生活への関わり方について .....	12
問4 仕事と家庭・地域活動との望ましい関わり方 .....	12
問5 仕事と家庭・地域活動との現在の関わり方 .....	13
問6 今後、男性が積極的に担っていくために必要だと思うこと .....	14
問7 家庭における役割分担 .....	15
問8 平日・休日の1日の生活時間 .....	19
3. 就労について .....	20
問9 現在の仕事を続ける意向 .....	20
問10 働くうえで感じる不安や困難 .....	21
問11 今後仕事をする意向 .....	22
問12 仕事を辞めたことの有無 .....	22
問13 仕事を辞めた理由 .....	23
問14 女性が職業をもつことについて .....	24
問15 制度の認知・利用状況 .....	25
問16 育児・介護休業制度を利用したことがない理由 .....	26
4. 地域での男女共同参画について .....	27
問17 地域活動での男女共同参画について .....	27
問18 男女共同参画推進のための法律・制度・事業の認知状況 .....	28

<b>5. 女性に対する暴力の防止・被害者支援について .....</b>	<b>31</b>
問19 DV 経験・身近で見聞き等の有無 .....	31
問20 配偶者や恋人等から受けた暴力について相談の有無.....	32
問21 DV に関する法律やDV 被害者のための相談機関の認知状況.....	33
問22 セクシュアル・ハラスメントの有無.....	36
問23 セクシュアル・ハラスメントが行われた場所.....	37
<b>6. 男女共同参画社会の形成について .....</b>	<b>38</b>
問24 「女性が輝く社会」を実現するために太田市に望むこと.....	38
問25 「男女共同参画社会」を実現していくために太田市に望むこと.....	38



# I 調査概要

## 1. 調査の目的

市民による男女共同参画に関する意識を把握し、今後の男女共同参画施策推進のための基礎資料とすることを目的としています。

## 2. 調査の項目

- (1) 男女平等について
- (2) 男女の仕事と生活への関わり方について
- (3) 就労について
- (4) 地域での男女共同参画について
- (5) 女性に対する暴力の防止・被害者支援について
- (6) 男女共同参画社会の形成について

## 3. 調査の方法

調査名	男女共同参画に関する市民意識調査
調査対象者	満 18 歳以上の市民
抽出方法	2021(令和 3)年 4 月 15 日現在で太田市に住民票がある満 18 歳以上の市民の中(住民基本台帳)から無作為抽出
実施期間	2021(令和 3)年 5 月 25 日～6 月 21 日
配布方法	日本郵便メール便による配布・郵送による回収
配布数	2,000 件
回収数	888 件
回収率	44.4%

## 4. 集計の方法・結果の見方

- 回答者数 (n) に占める構成比率を%で図表に表示します。回答者数 (n) は図表中に「○○○」や「(○○○)」または「(○○○人)」と表示します。
- 設問によって、加重平均値を求めて表示します。加重平均値の算定方法は、該当設問のページに示します。
- 集計結果は小数点第二位を四捨五入し、小数点第一位まで表示しています。そのため、表示された構成比率の合計が100.0%にならない場合があります。
- 各設問の問文枠中に示す「1つ回答」と「複数回答」は、それぞれ選択できる数の設定を示しています。また、これらは調査票においては問文の末尾に「1つだけに○」と「あてはまる番号すべてに○」と表示しています。
- 図及び本文中で「前回調査」(前回)、「前々回調査」(前々回)と表示する調査は、それぞれ以下の調査を示します。また、図中では調査年を表示し、本調査については「本調査〈2021〉」、以下の調査についてはそれぞれ「前回調査〈2017〉」「前々回調査〈2012年〉」と表示します。

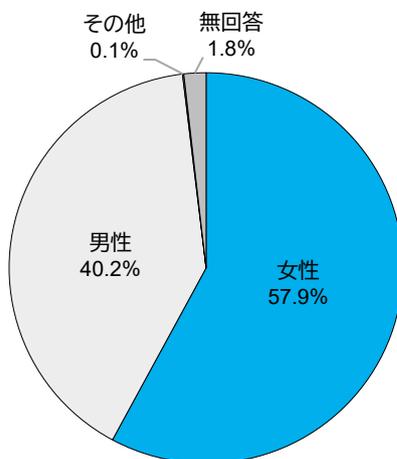
前回調査	調査名	男女共同参画に関する市民意識調査
	対象	住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の市民
	実施期間	2017年6月8日～6月30日
	配布方法	郵送配布・回収
	配布数	2,000件
	回収数	812件
	回収率	40.6%
前々回調査	調査名	男女共同参画に関する意識調査
	対象	住民基本台帳から無作為に抽出した20歳以上の市民
	実施期間	2012年6月8日～6月29日
	配布方法	郵送配布・回収
	配布数	3,000件
	回収数	1,206件
	回収率	40.2%

- 図表中で選択肢に示す【新】は、本調査で新たに設けた選択肢を示します。

## Ⅱ 回答者の属性

### 1. 性別

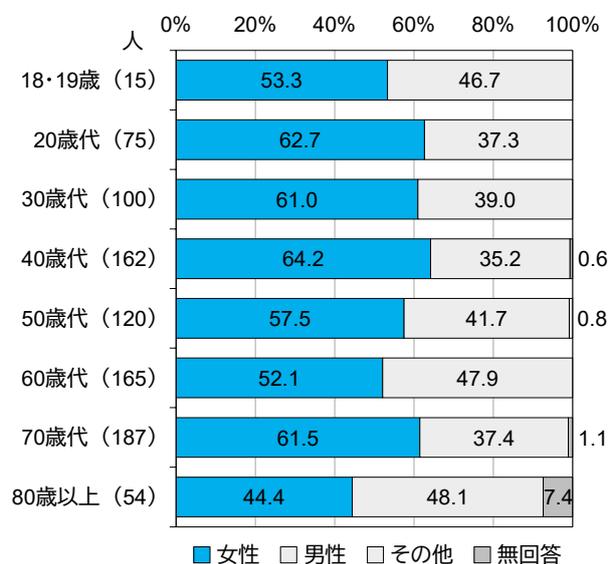
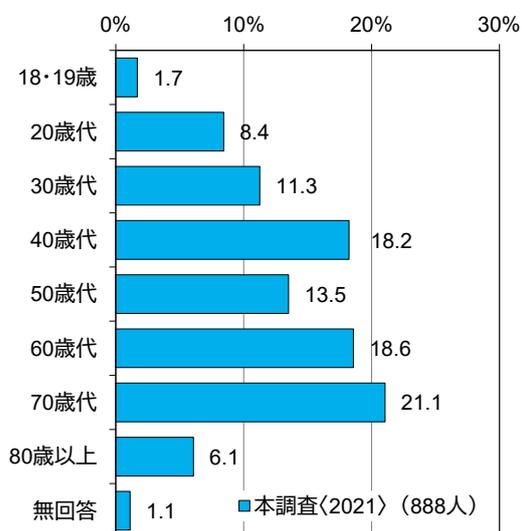
【性別】（1つ回答）



本調査(2021) (888人)

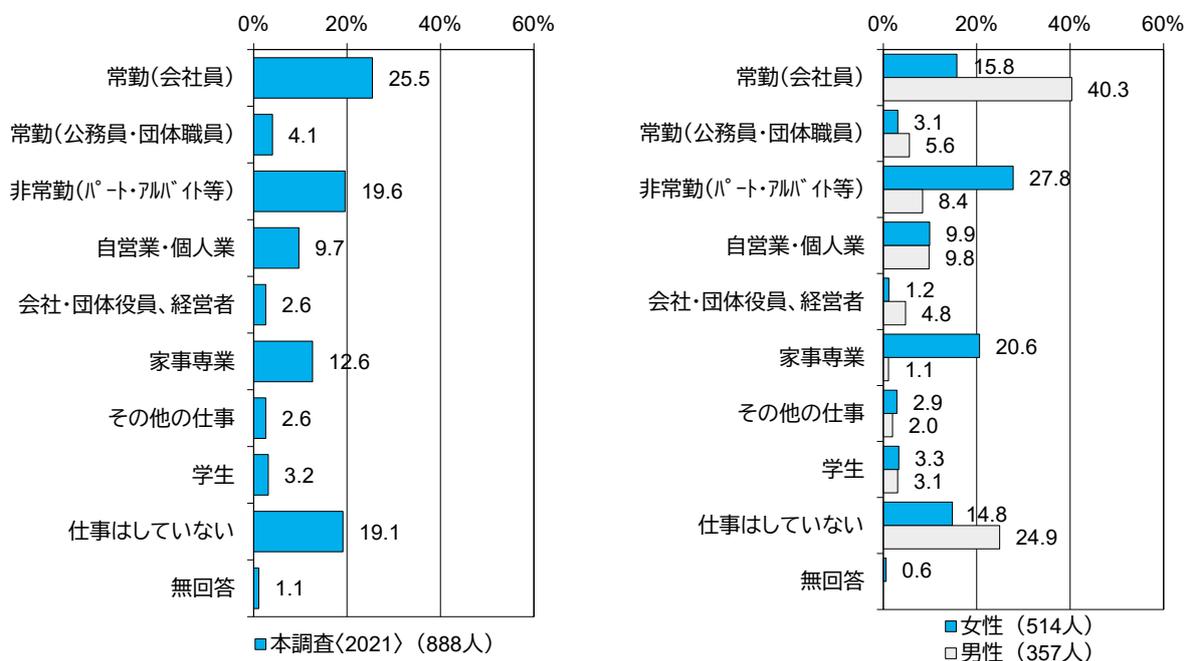
### 2. 年代

【年代】（1つ回答）

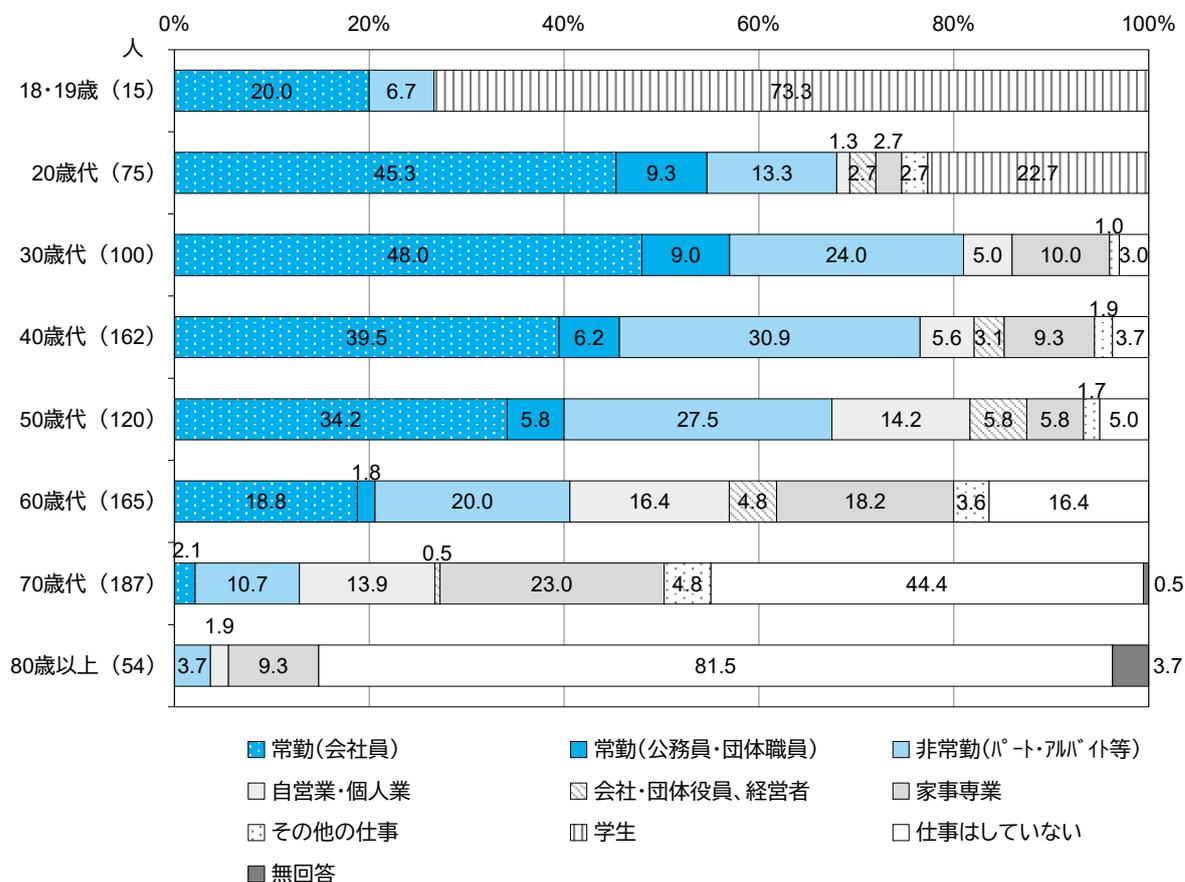


### 3. 職業等（1つ回答）

【職業等】（1つ回答）



【年代別職業等】（1つ回答）



### Ⅲ 調査結果

#### 1. 男女平等について

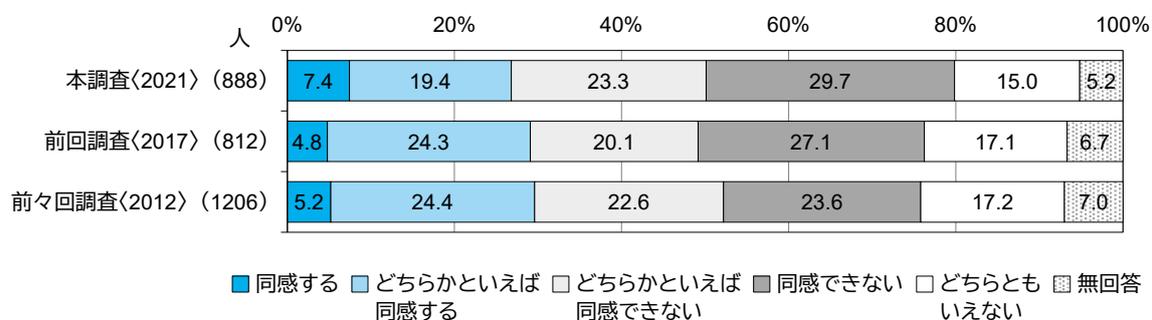
##### 問1 性別役割分担意識

「社会の仕事は男性の役割、家事や子育てや介護は女性の役割」というように性別によって役割を固定的にとらえる考え方がありますが、どう思いますか。(1つ回答)

◆「同感できない」が約3割で最も高く、次いで「どちらかといえば同感できない」が2割以上

◆合計値『否定』は5割以上、『肯定』は約3割で、『否定』は過去2回の調査より高い

【全体/前回・前々回との比較】(1つ回答)



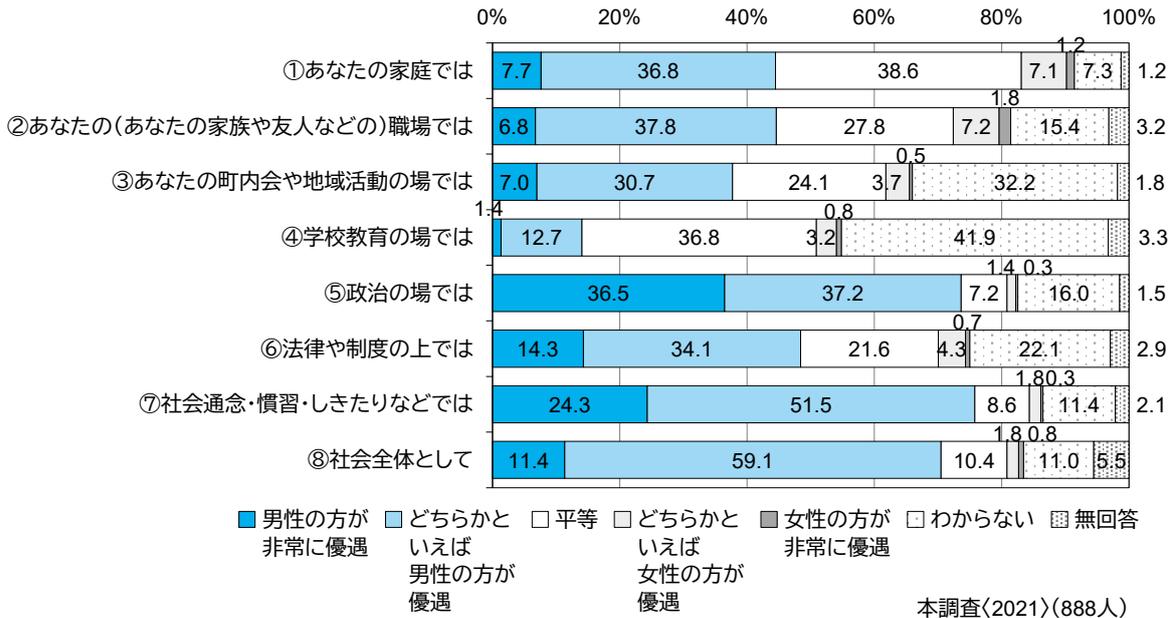
※合計値『否定』は「同感できない」「どちらかといえば同感できない」を合わせた値  
合計値『肯定』は「同意する」「どちらかといえば同意する」を合わせた値

## 問2 男女の地位は平等になっていると思うか

あなたは次のような場で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(各1つ回答)

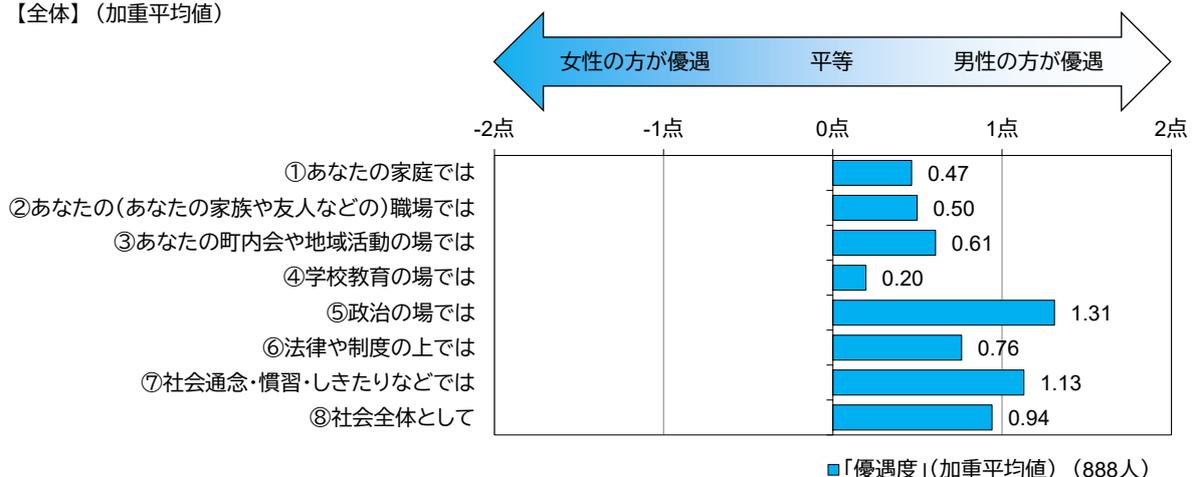
- ◆「平等」は家庭、学校教育で約4割、職場で3割、政治、社会通念、社会全体では1割程度
- ◆合計値『女性優遇』はいずれの場面でも1割未満、『男性優遇』は政治、社会通念、社会全体で7割以上
- ◆加重平均値で点数化すると、すべての場面で「男性の方が優遇」が高い

【全体】(各1つ回答)



※合計値『女性優遇』は「女性の方が非常に優遇」「どちらかといえば女性の方が優遇」を合わせた値  
 合計値『男性優遇』は「男性の方が非常に優遇」「どちらかといえば男性の方が優遇」を合わせた値

【全体】(加重平均値)

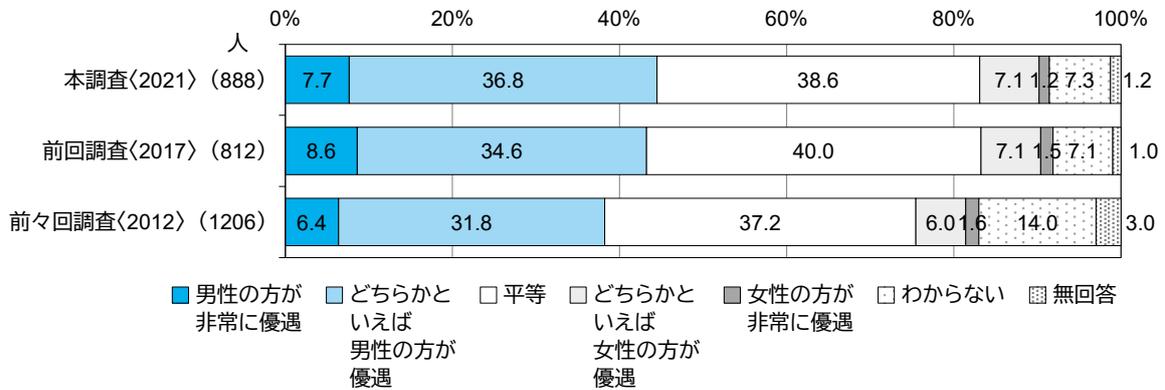


※加重平均値で点数化：選択肢に点数を与え、加重平均値を求めて点数としました。点数は-2点～+2点の範囲で、-2点に近いほど「女性の方が優遇」、+2点に近いほど「男性の方が優遇」という傾向が強いと言えます。また、「わからない」とする回答及び無回答を除いて点数化しているため、具体的な回答のみによる点数と言えます。  
 加重平均値は、選択肢それぞれに「男性の方が非常に優遇」2点、「どちらかといえば男性の方が優遇」1点、「どちらかといえば女性の方が優遇」-1点、「女性の方が非常に優遇」-2点、「平等」0点を与え、回答数に乗じた合計を「わからない」と無回答を除く人数で除して加重平均値を求めました。

## ①あなたの家庭では

◆「平等」「どちらかといえば男性の方が優遇」が約4割で同程度に高く、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

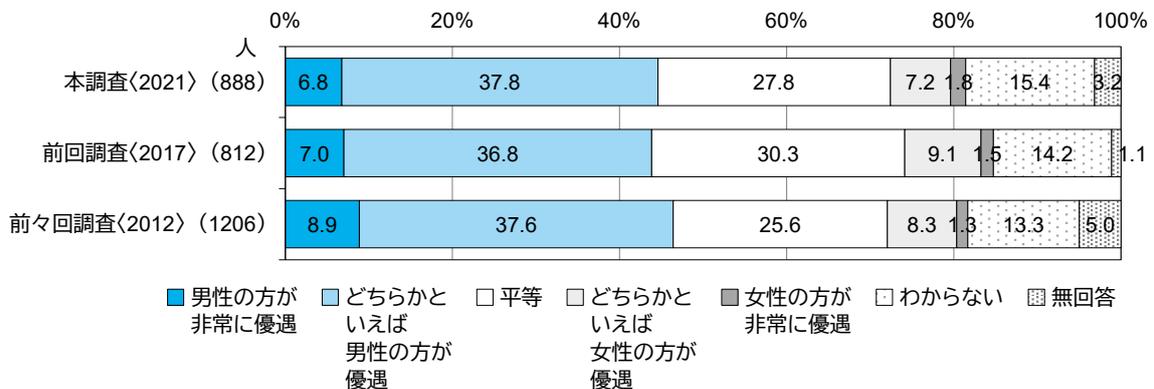
【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



## ②あなたの（あなたの家族や友人などの）職場では

◆「どちらかといえば男性の方が優遇」が約4割で最も高く、次いで「平等」が約3割で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

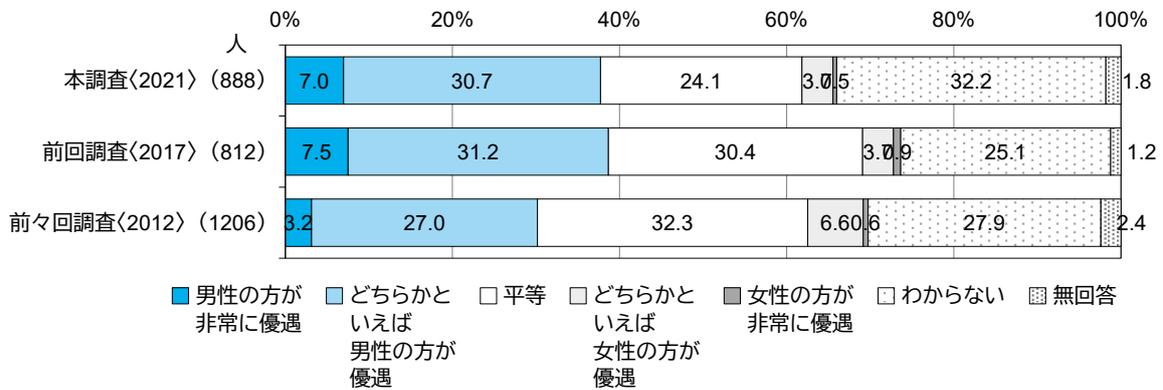
【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



### ③あなたの町内会や地域活動の場では

◆「わからない」「どちらかといえば男性の方が優遇」が3割以上で同程度に高く、次いで「平等」が2割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

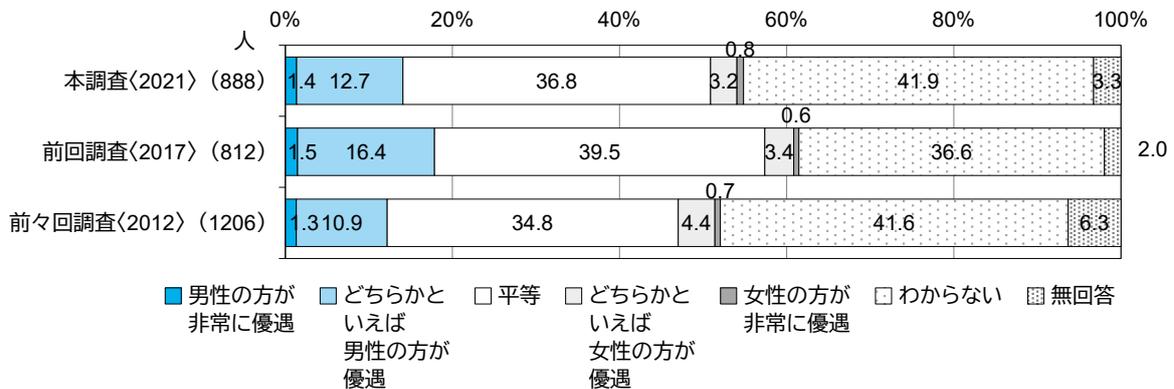
【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



### ④学校教育の場では

◆「わからない」が4割以上で最も高く、次いで「平等」が約4割で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

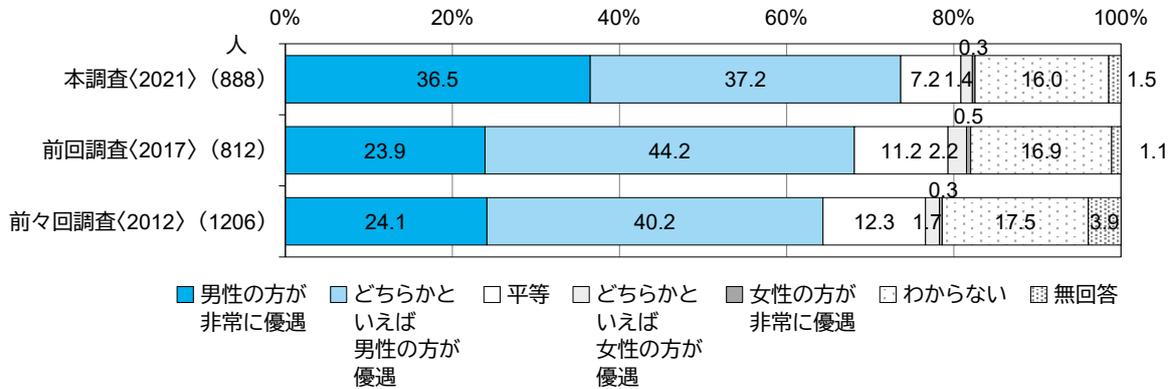
【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



## ⑤政治の場では

◆「どちらかといえば男性の方が優遇」「男性の方が非常に優遇」が約4割、「平等」は1割未満で、過去2回の調査より「男性の方が非常に優遇」が高い

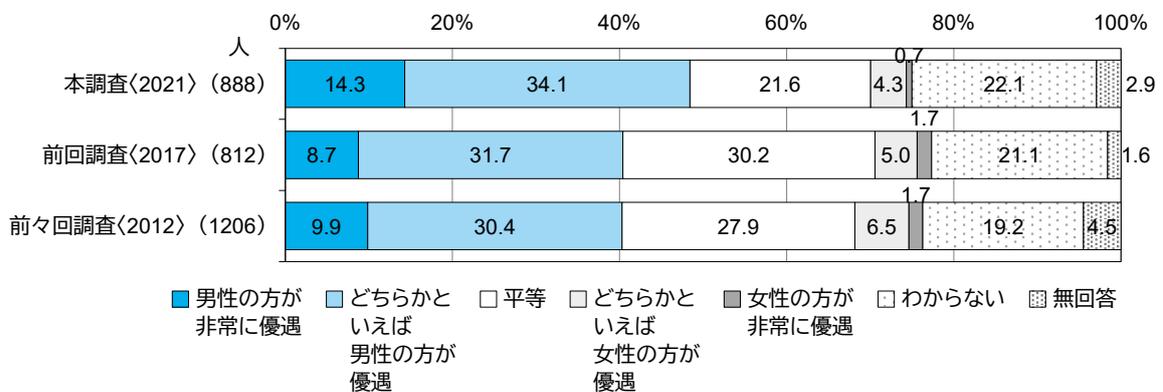
【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



## ⑥法律や制度の上では

◆「どちらかといえば男性の方が優遇」が3割以上で最も高く、次いで「わからない」「平等」が2割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

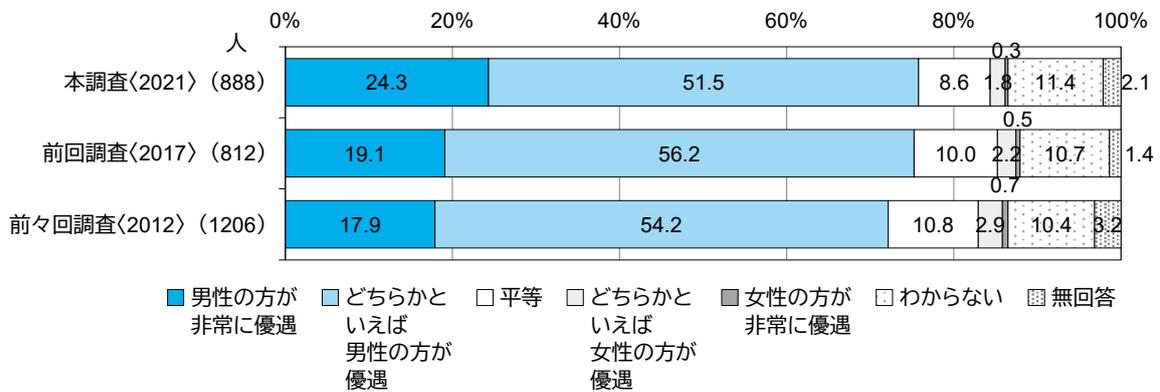
【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



### ⑦社会通念・慣習・しきたりなどでは

◆「どちらかといえば男性の方が優遇」が5割以上で最も高く、「平等」は1割未満で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

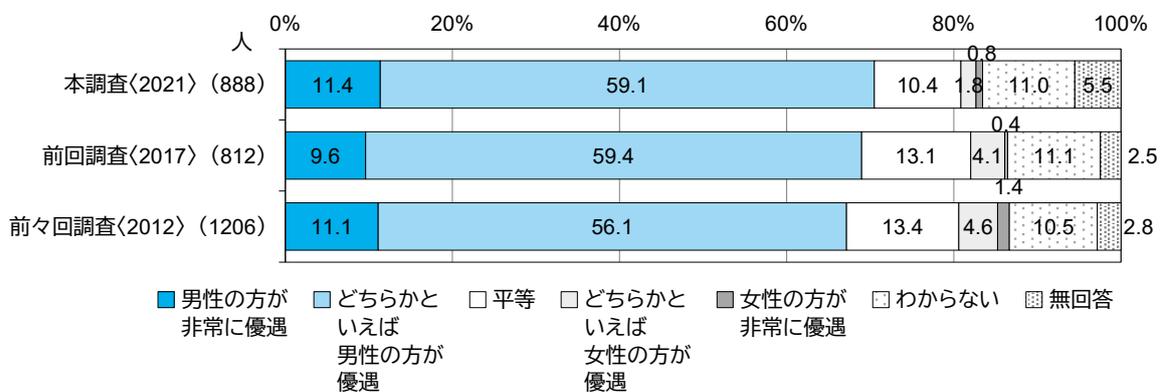
【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



### ⑧社会全体として

◆「どちらかといえば男性の方が優遇」が5割以上で最も高く、次いで「男性の方が非常に優遇」「わからない」「平等」が1割未満で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



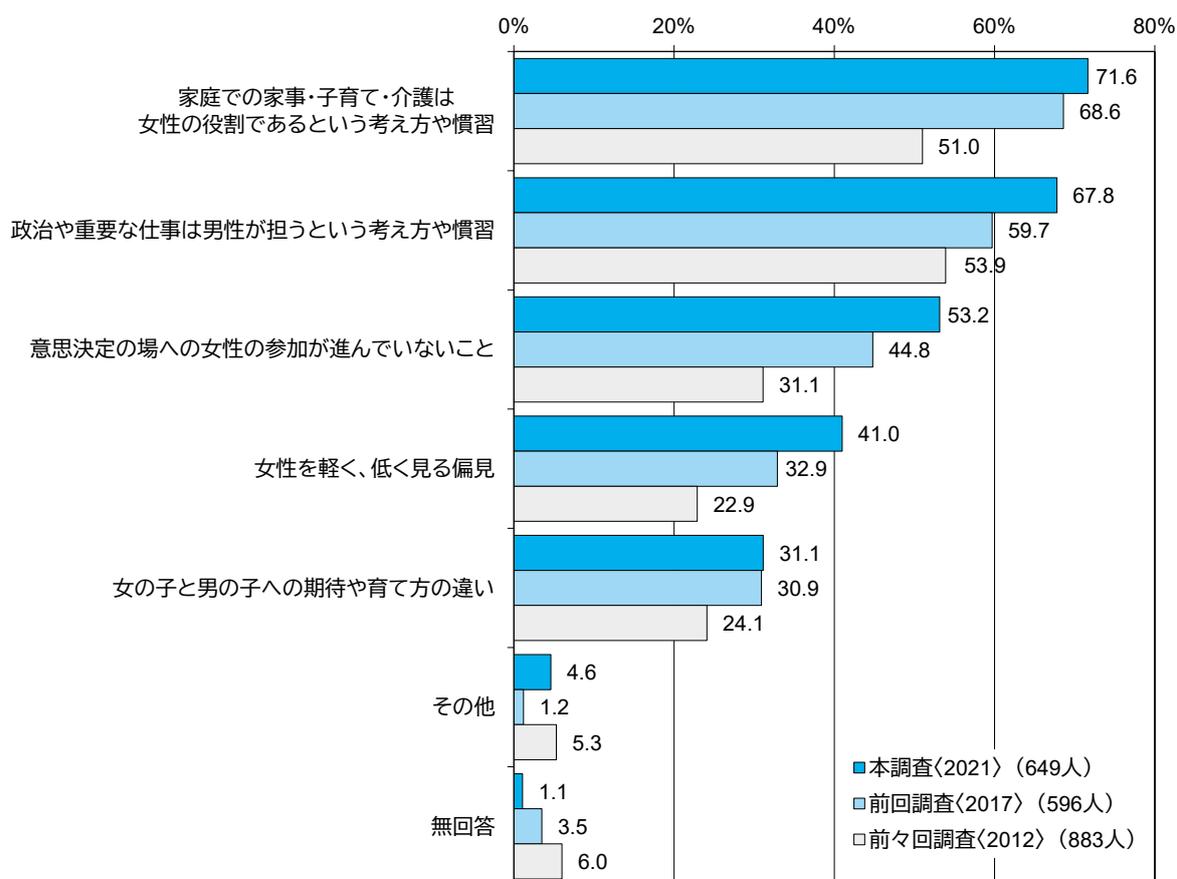
### 問3 男女平等を阻んでいると思う要因

どのような要因が男女平等を阻んでいると思いますか。(複数回答)

問2⑧で「男性の方が非常に優遇されている」「どちらかといえば男性の方が優遇されている」「どちらかといえば女性の方が優遇されている」「女性の方が非常に優遇されている」の選択者のみ

- ◆「家庭での家事等は女性の役割という考え方・慣習」「政治や重要な仕事は男性が担うという考え方・慣習」が約7割で同程度に高い
- ◆ほとんどの項目が過去2回の調査より高い

【全体／前回・前々回との比較】(複数回答)



## 2. 男女の仕事と生活への関わり方について

### 問4 仕事と家庭・地域活動との望ましい関わり方

あなたは、仕事と家庭・地域での活動にどのように関わるのが望ましいと思いますか。

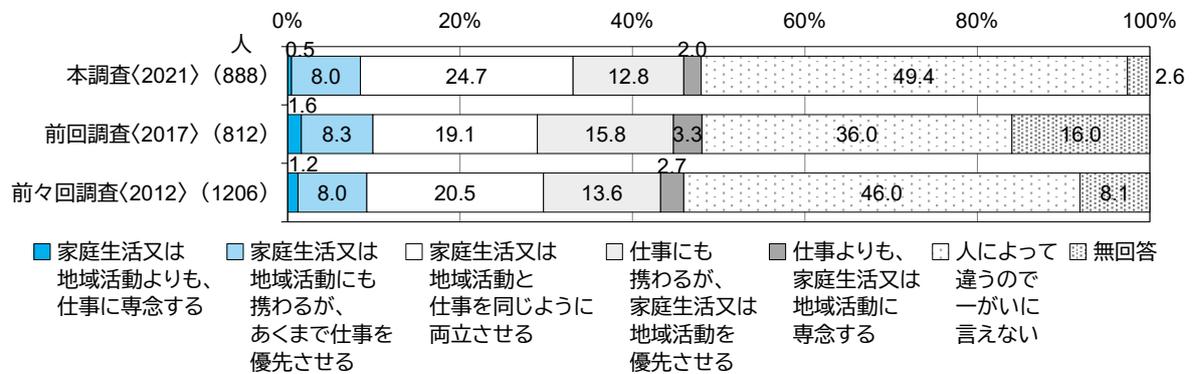
(1) 女性・(2) 男性それぞれの関わり方についてお答えください。(各1つ回答)

#### (1) 女性の関わり方

◆「一がいに言えない」が約5割で最も高く、次いで「家庭・地域と仕事を両立」が2割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

◆合計値『仕事を優先・専念』『家庭・地域を優先・専念』はいずれも約1割

【全体/前回・前々回との比較】(1つ回答)

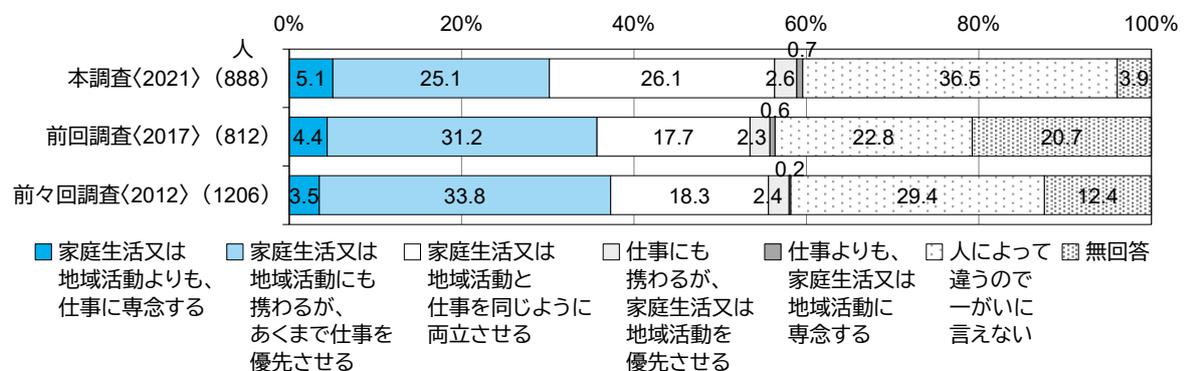


#### (2) 男性の関わり方

◆「一がいに言えない」が3割以上で最も高く、次いで「家庭・地域と仕事を両立」「仕事を優先」が2割以上で、「一がいに言えない」「家庭・地域と仕事を両立」は過去2回の調査より高い

◆合計値『仕事を優先・専念』が3割以上、『家庭・地域を優先・専念』が1割未満

【全体/前回・前々回との比較】(1つ回答)



※合計値『仕事を優先・専念』は「家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する」「家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる」を合わせた値  
 合計値『家庭・地域を優先・専念』は「仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる」「仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する」を合わせた値

## 問5 仕事と家庭・地域活動との現在の関わり方

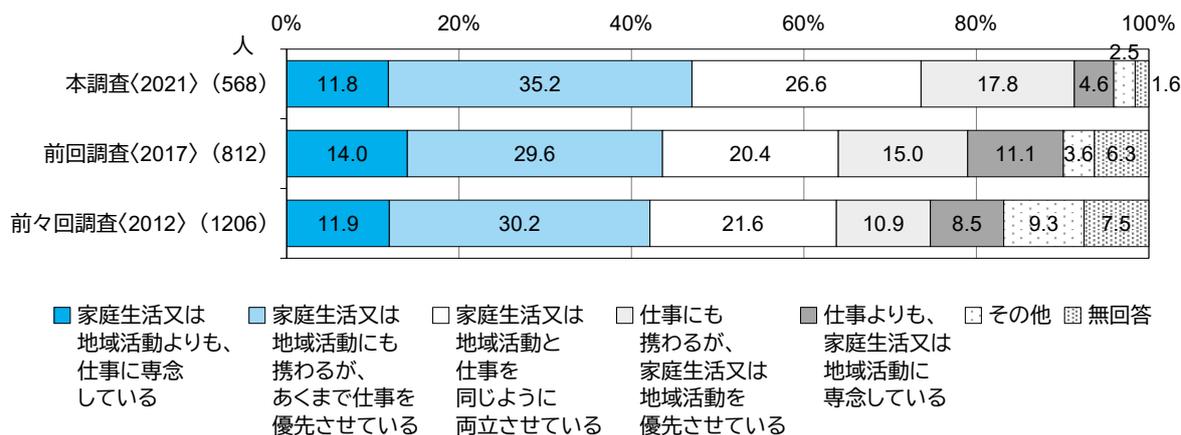
現在のあなたの、仕事と家庭・地域での活動の関わり方はどれにあたりますか。(1つ回答)

現在仕事をしている方のみ(問28で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」及び無回答を除く)

◆「あくまで仕事を優先」が3割以上で最も高く、次いで「家庭・地域と仕事を両立」が約3割

◆合計値『仕事を優先・専念』が約5割、『家庭・地域を優先・専念』が2割以上

【全体/前回・前々回との比較】(1つ回答)



※合計値『仕事を優先・専念』は「家庭生活又は地域活動よりも、仕事に専念する」「家庭生活又は地域活動にも携わるが、あくまで仕事を優先させる」を合わせた値  
 合計値『家庭・地域を優先・専念』は「仕事にも携わるが、家庭生活又は地域活動を優先させる」「仕事よりも、家庭生活又は地域活動に専念する」を合わせた値

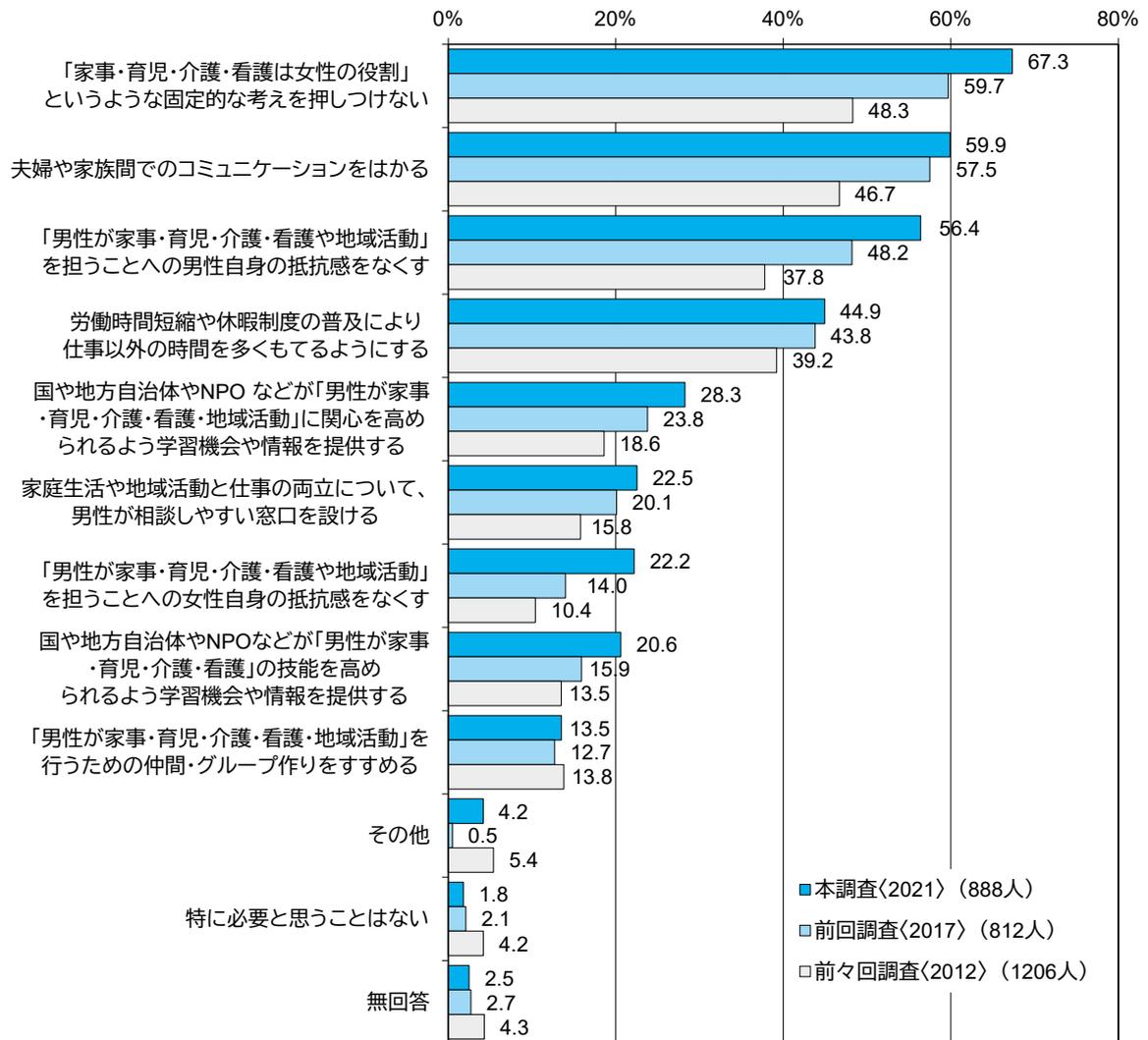
※前回調査までは就業状況に関わらず全回答者で集計しているため、参考表示

## 問6 今後、男性が積極的に担っていくために必要だと思うこと

今後、男性が女性とともに家事・育児・介護・看護、地域活動などをより積極的に担っていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（複数回答）

- ◆「固定的な考えを押しつけない」が約7割で最も高く、次いで「夫婦や家族間でのコミュニケーション」が約6割
- ◆過去2回の調査からの大きな変化は見られないが、ほとんどの項目が高い

【全体／前回・前々回との比較】（複数回答）

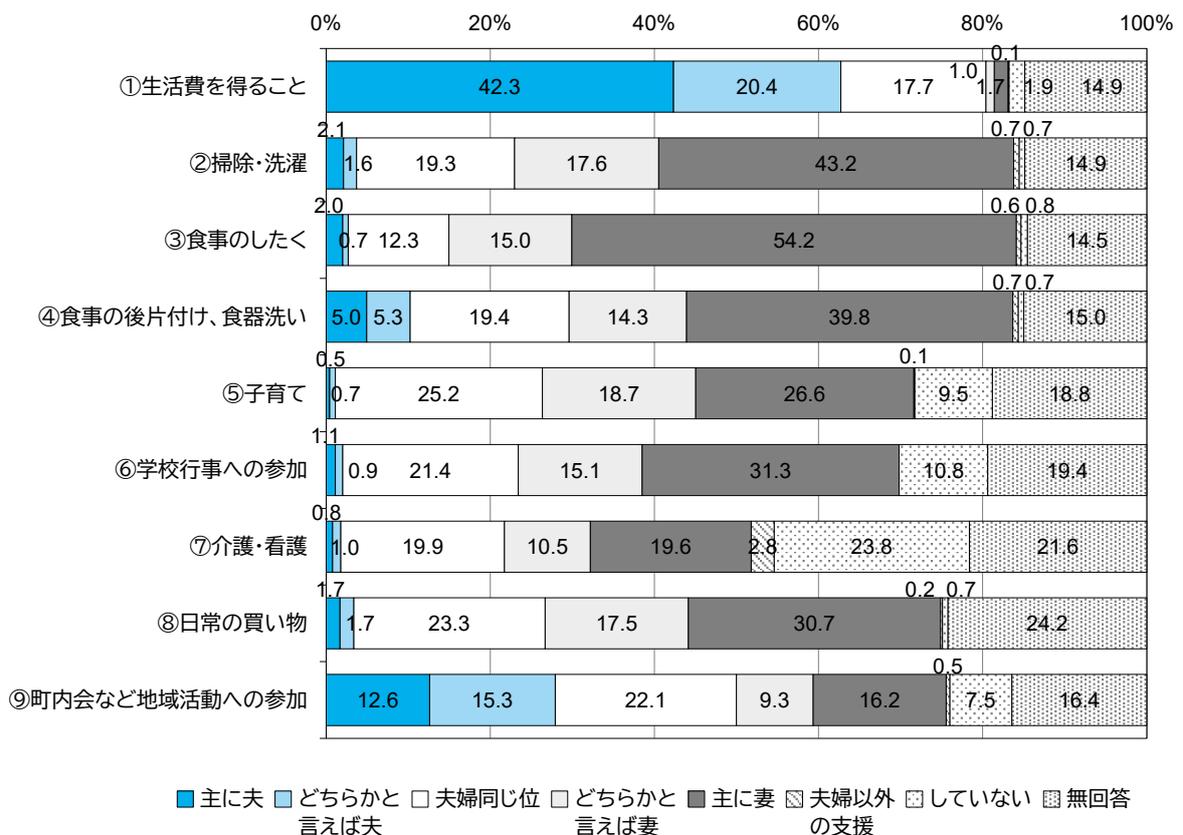


## 問7 家庭における役割分担

次にあげる家庭生活のことについて、あなたの家庭ではどのように役割分担をしていますか。  
(未婚、お子さんのいない方はお考えをご回答ください) (各1つ回答)

- ◆「夫婦同じ位」はほとんどの役割で2割程度の中、「食事のしたく」では1割程度
- ◆「生活費を得ること」「地域活動への参加」を除き、合計値『妻が主体』が『夫が主体』より高い

【全体】(各1つ回答)



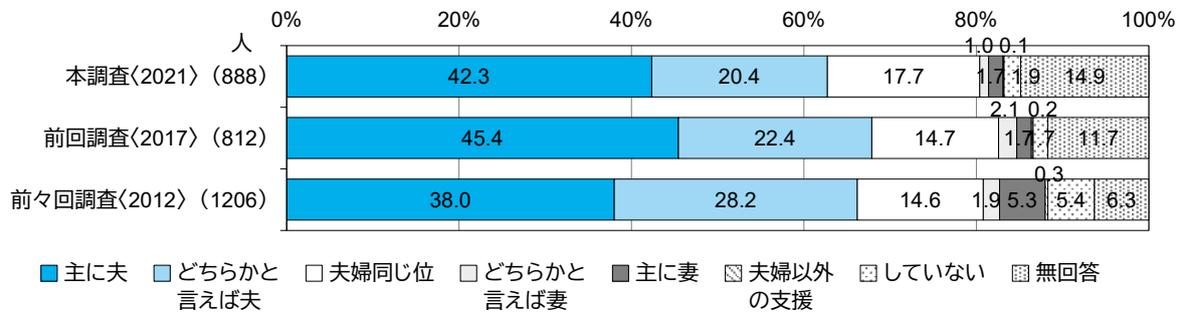
本調査(2021) (888人)

※合計値『妻が主体』は「主に妻」「どちらかといえば妻」を合わせた値  
合計値『夫が主体』は「主に夫」「どちらかといえば夫」を合わせた値

### ①生活費を得ること

◆「主に夫」が4割以上で最も高く、次いで「夫婦同じ位」は約2割で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

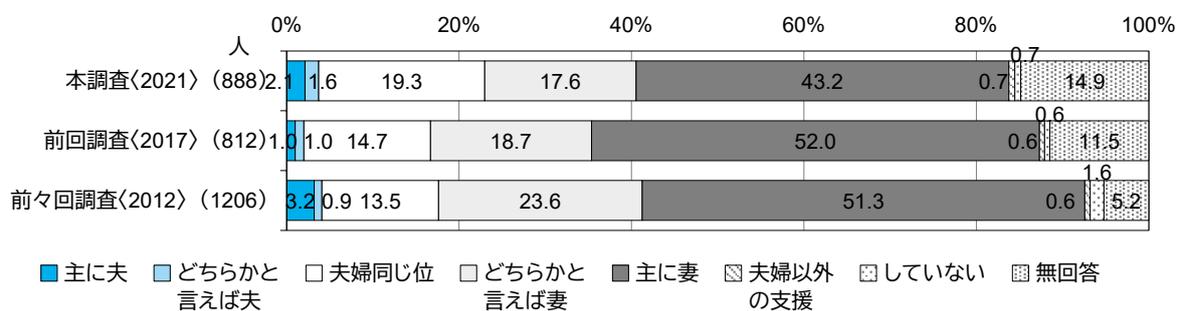


### ②掃除・洗濯

◆「主に妻」が4割以上で最も高く、次いで「夫婦同じ位」が約2割

◆過去2回の調査より合計値『妻が主体』が低い

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

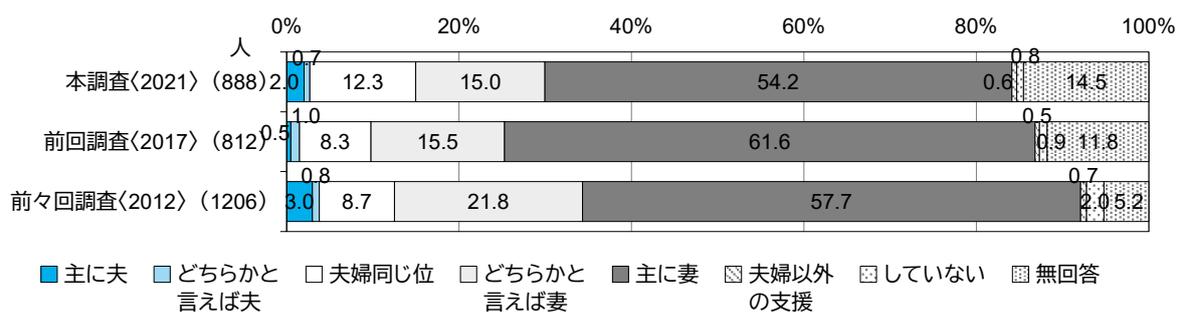


### ③食事のしたく

◆「主に妻」が5割以上で最も高く、次いで「どちらかと言えば妻」「夫婦同じ位」が1割以上

◆過去2回の調査より合計値『妻が主体』が低い

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

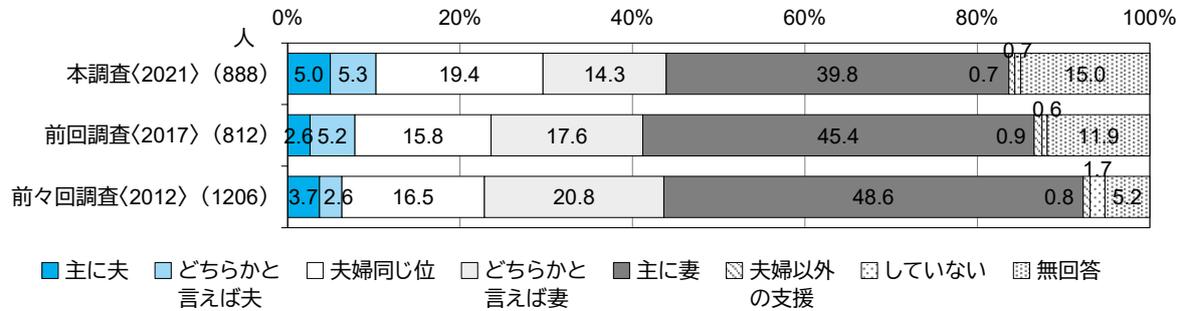


#### ④食後の後片付け、食器洗い

◆「主に妻」が約4割で最も高く、次いで「夫婦同じ位」は約2割

◆過去2回の調査より合計値『妻が主体』が低い

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

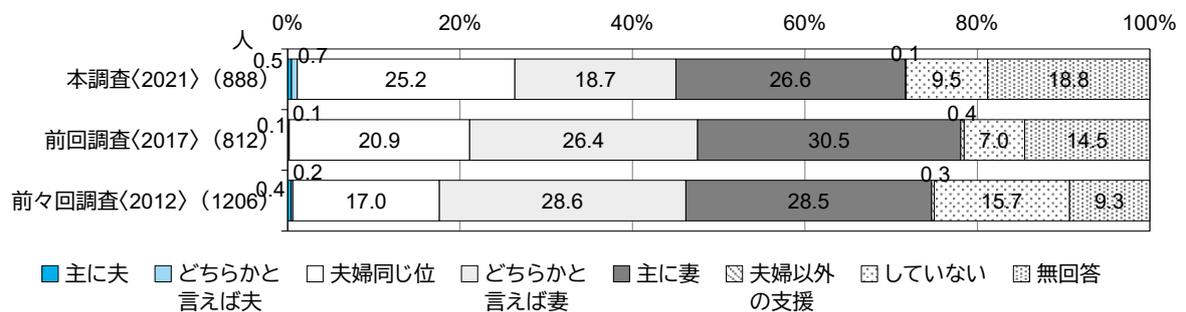


#### ⑤子育て

◆「主に妻」「夫婦同じ位」が2割以上で同程度に高い

◆過去2回の調査より合計値『妻が主体』が低い

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

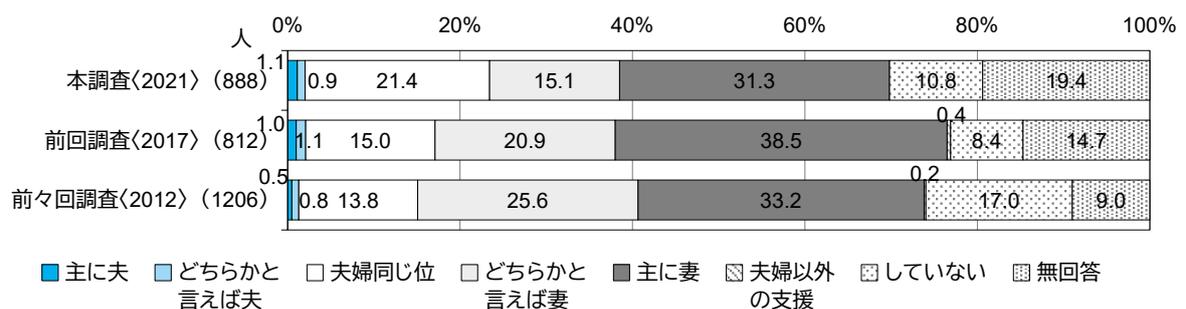


#### ⑥学校行事への参加

◆「主に妻」が3割以上で最も高く、次いで「夫婦同じ位」が2割以上

◆過去2回の調査より合計値『妻が主体』が低い

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

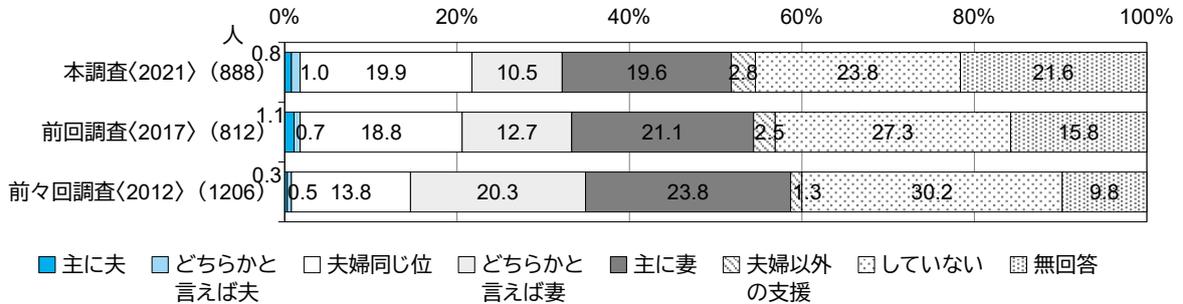


## ⑦介護・看護

◆「していない」が2割以上で最も高く、次いで「主に妻」「夫婦同じ位」が2割

◆過去2回の調査より『妻が主体』が低い

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

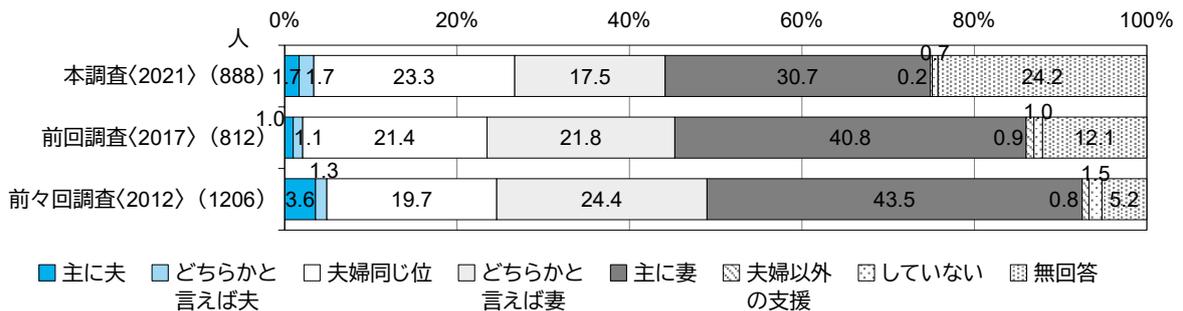


## ⑧日常の買い物

◆「主に妻」が3割以上で最も高く、次いで「夫婦同じ位」が2割以上

◆過去2回の調査より合計値『妻が主体』が低い

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

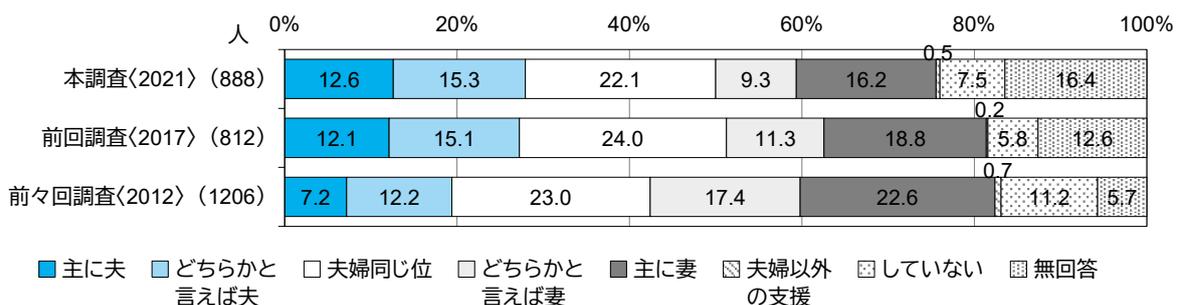


## ⑨町内会など地域活動への参加

◆「夫婦同じ位」が2割以上で最も高く、次いで「主に妻」「どちらかと言えば夫」「主に夫」が1割以上

◆前回からの大きな変化は見られないが、前々回より合計値『夫が主体』が高く、『妻が主体』が低い

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



## 問8 平日・休日の1日の生活時間

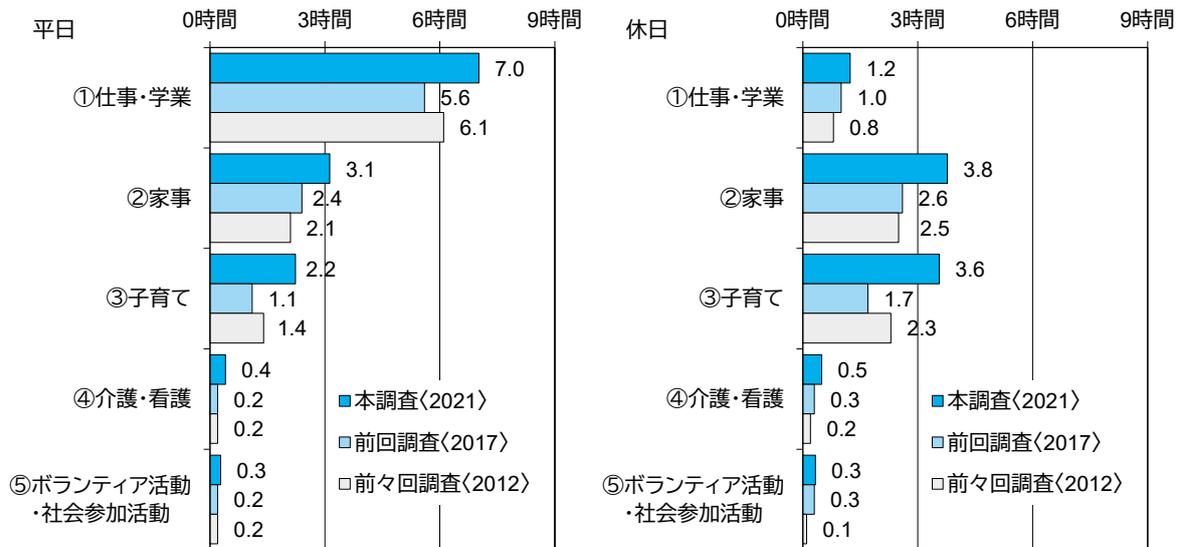
あなたの平日・休日の1日の生活時間をご記入ください。(記述)

◆平日は「仕事・学業」が7.0時間で最も長く、次いで「家事」が3.1時間

◆休日は「家事」が3.8時間、「子育て」が3.6時間で同程度

◆過去2回の調査より平日・休日とも「仕事・学業」「家事」「子育て」が長時間化し、特に休日の「子育て」が長い

【全体】(記述)



### 3. 就労について

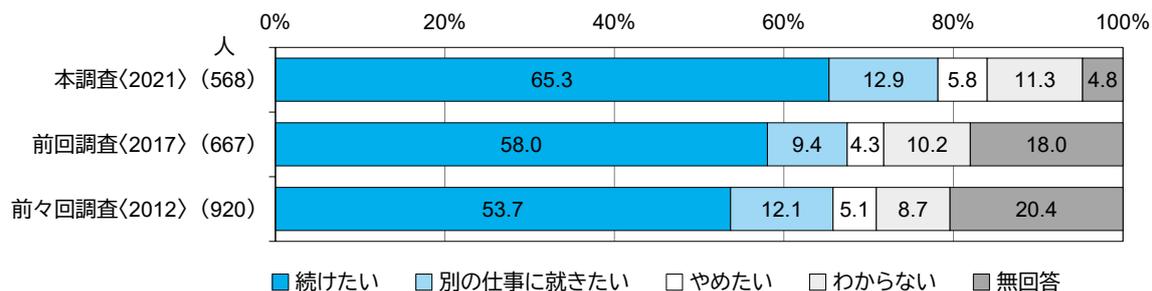
#### 問9 現在の仕事を続ける意向

あなたは今後も現在の仕事を続けたいと思いますか。(1つ回答)

現在仕事をしている方のみ(問28で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」及び無回答を除く)

◆「続けたい」が6割以上で最も高く、次いで「別の仕事に就きたい」が1割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

【全体/前回・前々回との比較】(1つ回答)



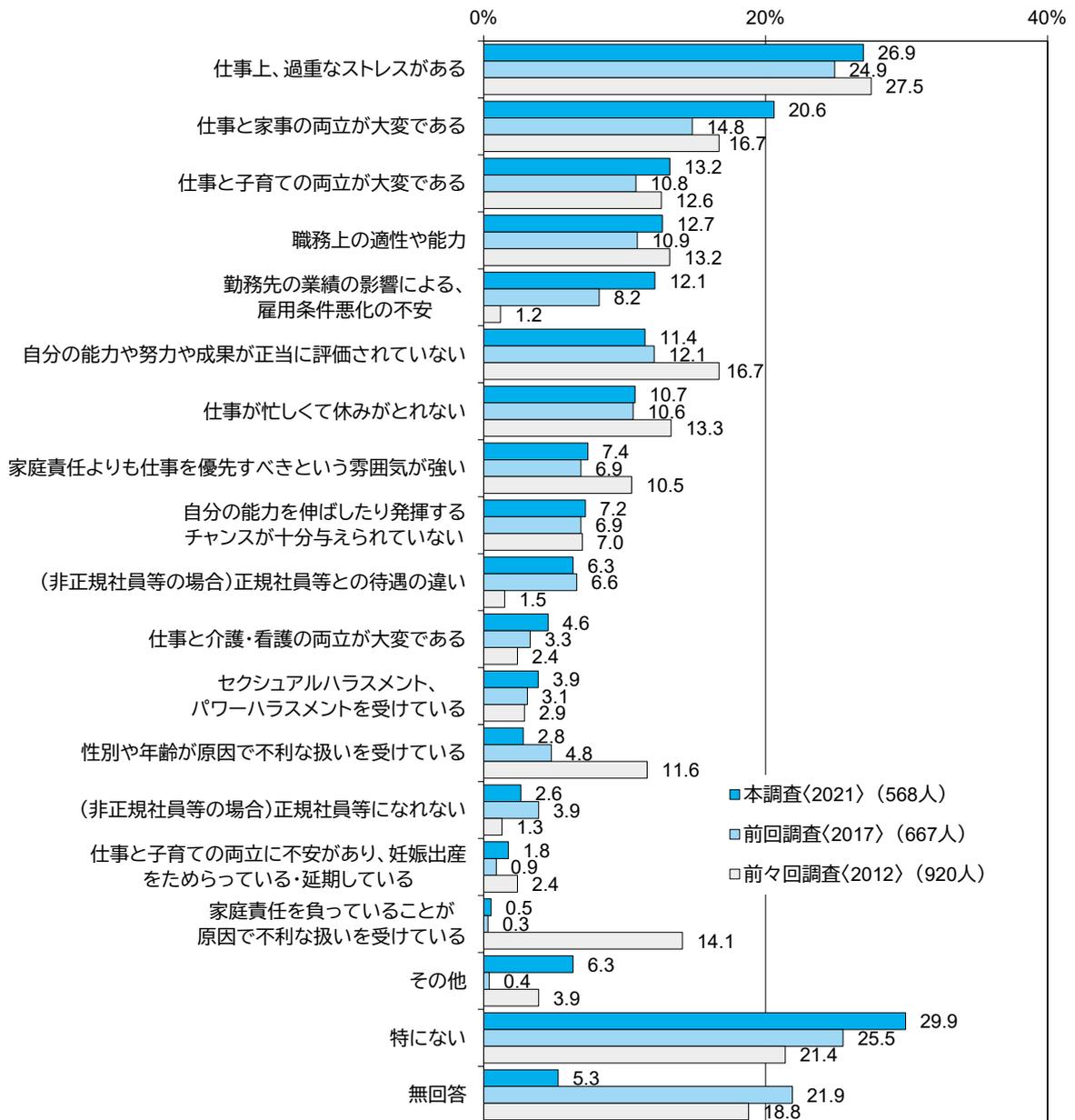
## 問10 働くうえで感じる不安や困難

あなたは働くうえで不安や困難を感じていらっしゃいますか。(複数回答)

現在仕事をしている方のみ(問28で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」及び無回答を除く)

◆「特にない」「仕事上、過重なストレスがある」が約3割で同程度に高く、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

【全体/前回・前々回との比較】(複数回答)



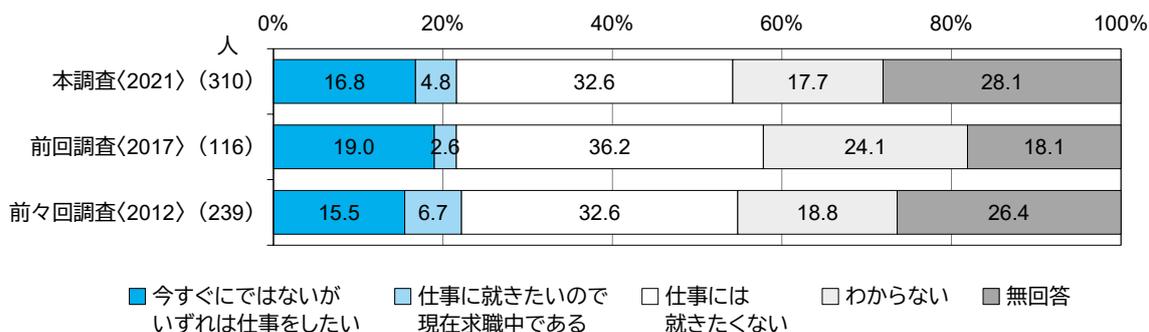
## 問11 今後仕事をする意向

あなたは今後仕事をしたいですか。(1つ回答)

現在仕事をしていない方のみ(問28で「家事専業」「学生」「仕事はしていない」の選択者のみ)

- ◆「仕事には就きたくない」が3割以上で最も高く、次いで「わからない」「いずれは仕事をしたい」が約2割で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

【全体/前回・前々回との比較】(1つ回答)

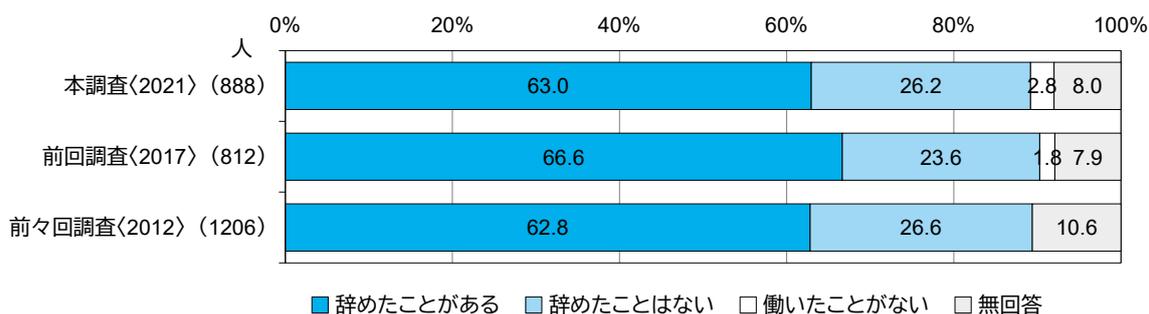


## 問12 仕事を辞めたことの有無

あなたはこれまでに、仕事を辞めたことがありますか。(1つ回答)

- ◆「辞めたことがある」が6割以上、「辞めたことはない」が2割以上で、過去2回の調査からの大きな変化は見られない

【全体/前回・前々回との比較】(1つ回答)



※「働いたことはない」は前回調査から設定

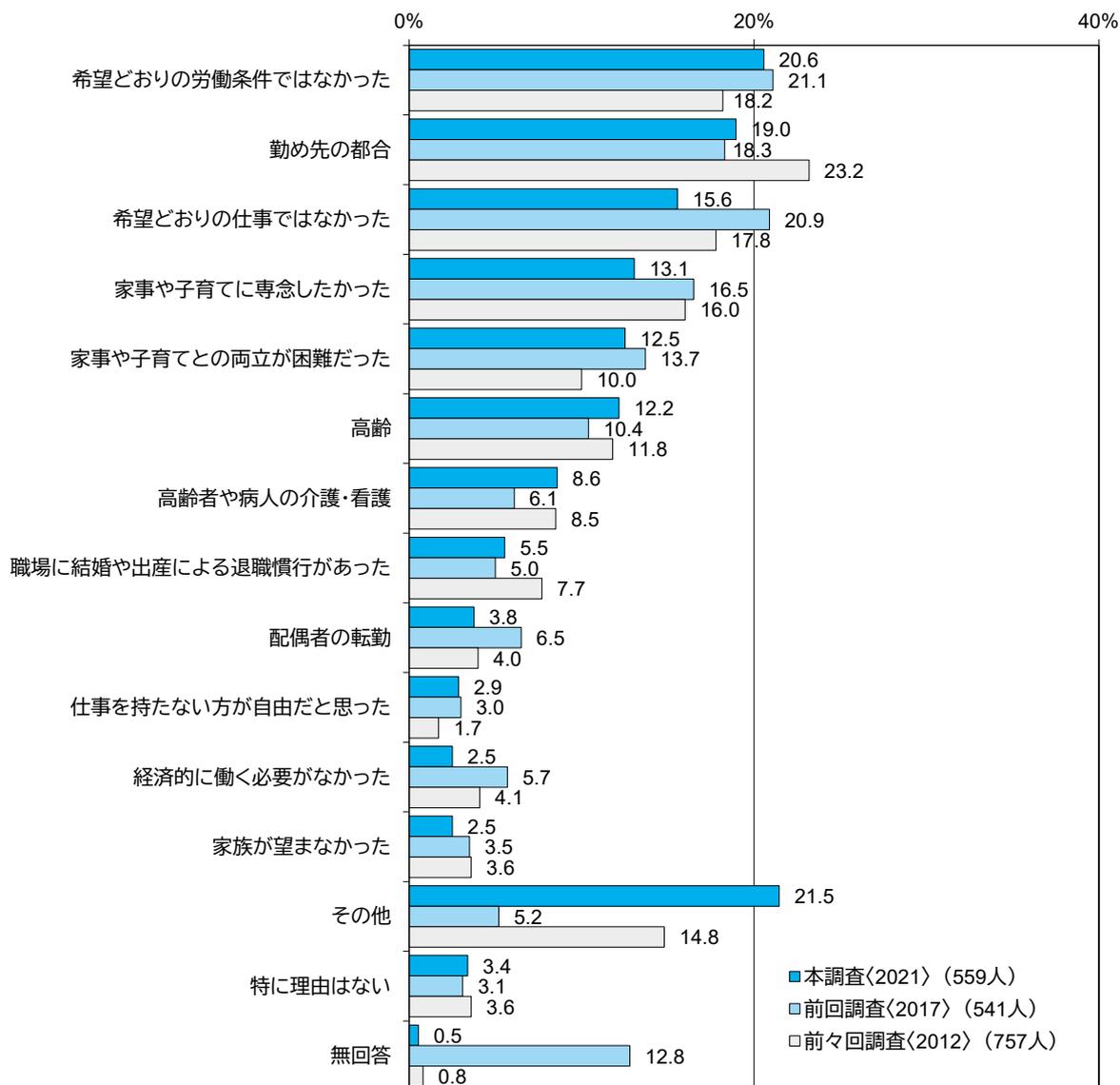
### 問13 仕事を辞めた理由

仕事を辞めた理由は何ですか。(複数回答)

問12で「辞めたことがある」の選択者のみ

- ◆「希望通りの労働条件ではない」「勤め先の都合」が2割程度で同程度に高い
- ◆過去2回の調査からの大きな変化は見られない

【全体/前回・前々回との比較】(複数回答)



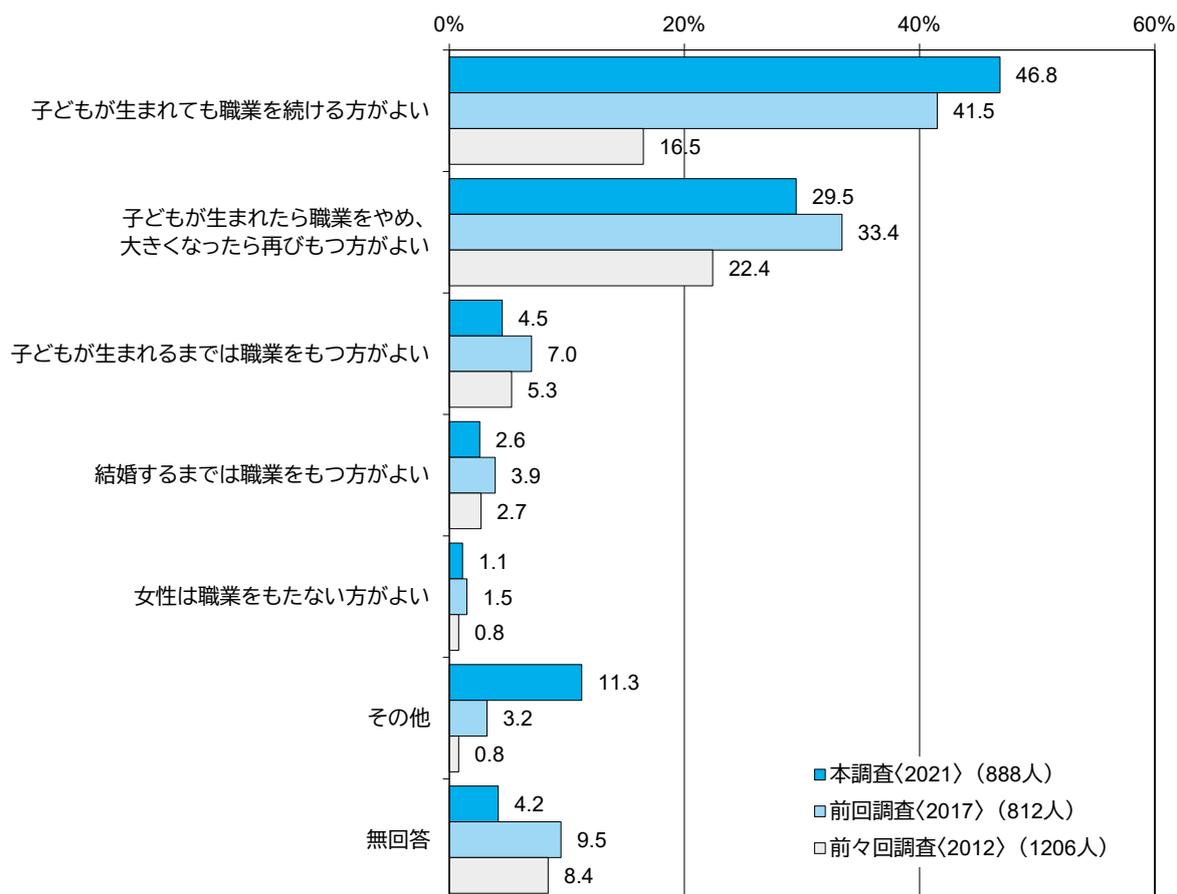
## 問14 女性が職業をもつことについて

あなたは、一般的に女性が職業をもつことについてどのように思いますか。(1つ回答)

◆「子どもが生まれても続ける」が約5割で最も高く、次いで「子どもが生まれたらやめ、大きくなったら再びもつ」が約3割

◆「子どもが生まれても続ける」は過去2回の調査より高い

【全体／前回・前々回との比較】(1つ回答)



※前々回調査では本調査で未設定の「人によって違うので、一概には言えない」が43.1%で最も高い

## 問15 制度の認知・利用状況

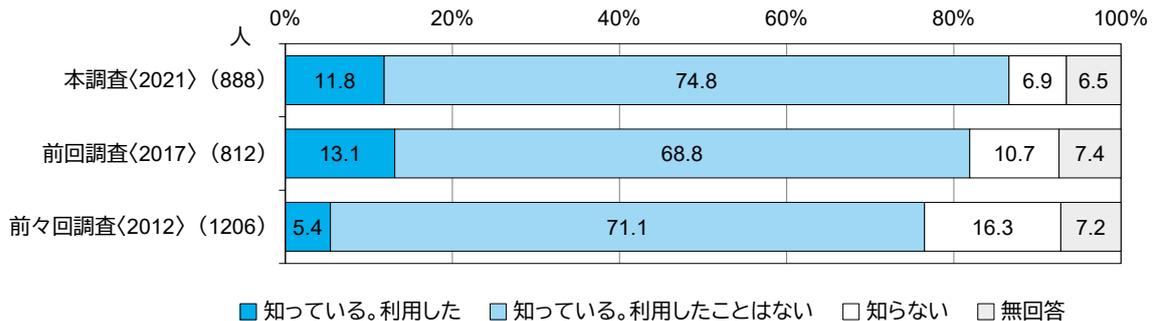
あなたは、次にあげる制度を知っていますか。また利用したことがありますか。(各1つ回答)

### ①育児休業制度

◆「知っている。利用したことはない」が7割以上で最も高く、認知度は約9割

◆認知度は過去2回の調査より高い

【全体／前回・前々回との比較】(1つ回答)

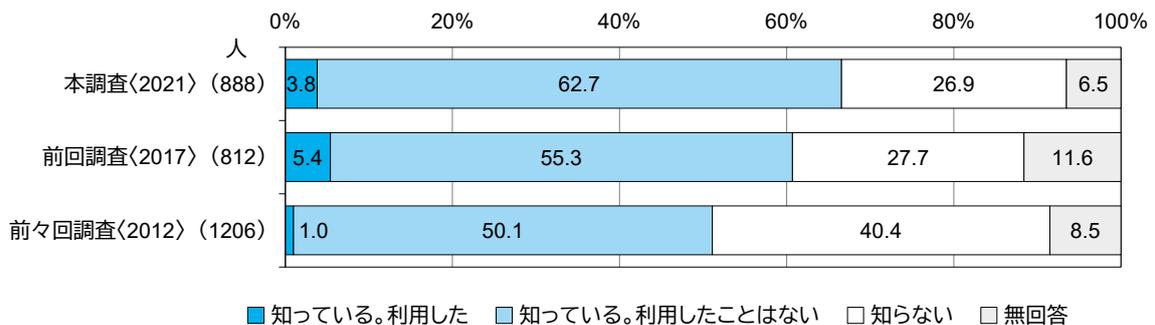


### ②介護休業制度

◆「知っている。利用したことはない」が6割以上で最も高く、認知度は約7割

◆認知度は過去2回の調査より高い

【全体／前回・前々回との比較】(1つ回答)



※認知度は「知っている。利用した」「知っている。利用したことはない」を合わせた値

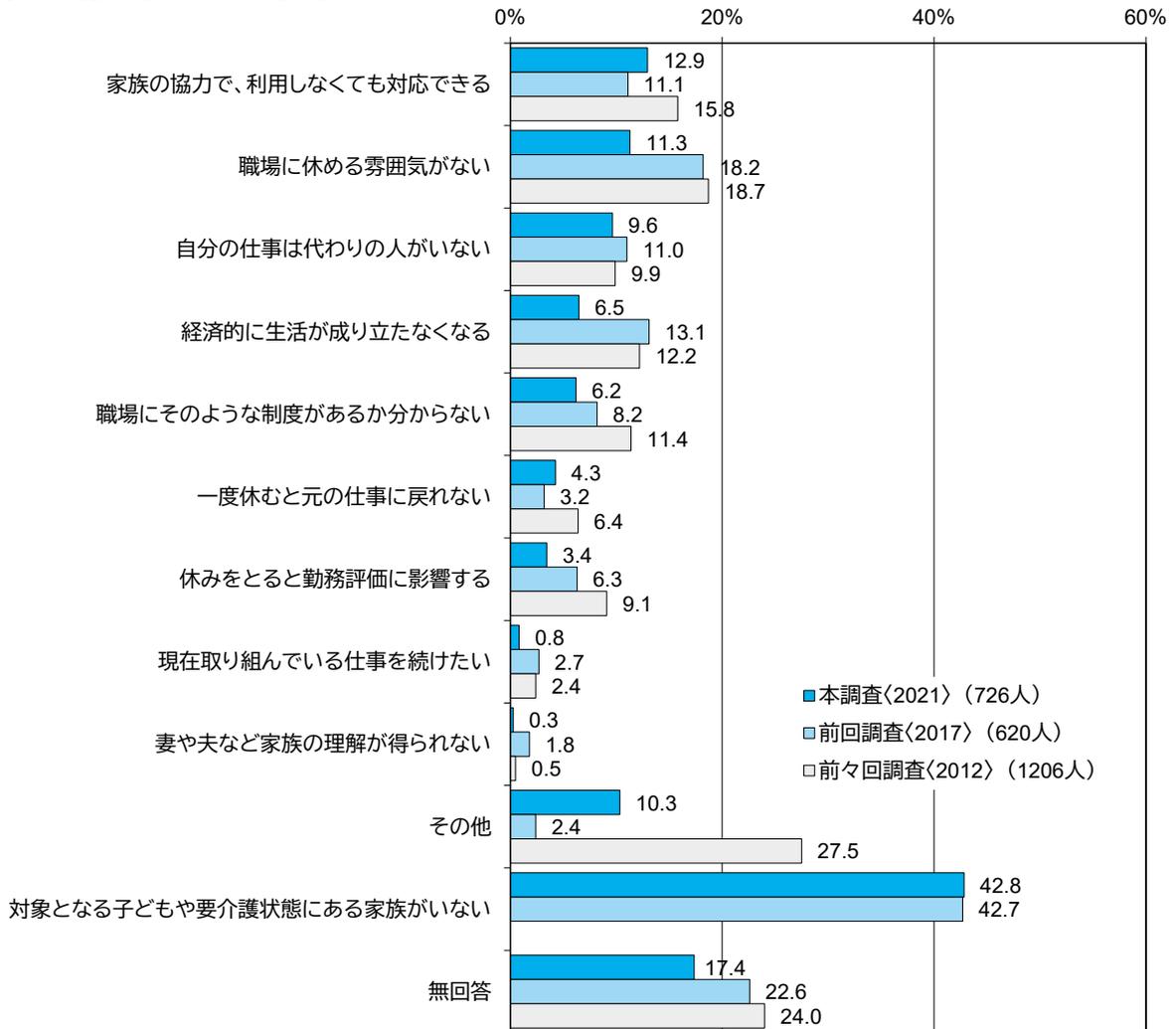
## 問16 育児・介護休業制度を利用したことがない理由

育児・介護休業制度を利用したことはない理由は何ですか。(複数回答)

育児・介護休業制度を利用したことがない方のみ(問15①または②で「知っている。利用したことはない」の選択者のみ)

- ◆「対象となる子どもや家族がない」が4割以上で最も高く、次いで「家族の協力で対応」「休める雰囲気がない」が1割以上

【全体/前回・前々回との比較】(複数回答)



※前々回調査では、利用経験を問わず、全回答者を対象として構成比率を算出  
 ※「対象となる子どもや要介護状態にある家族がない」は前回調査から設定

## 4. 地域での男女共同参画について

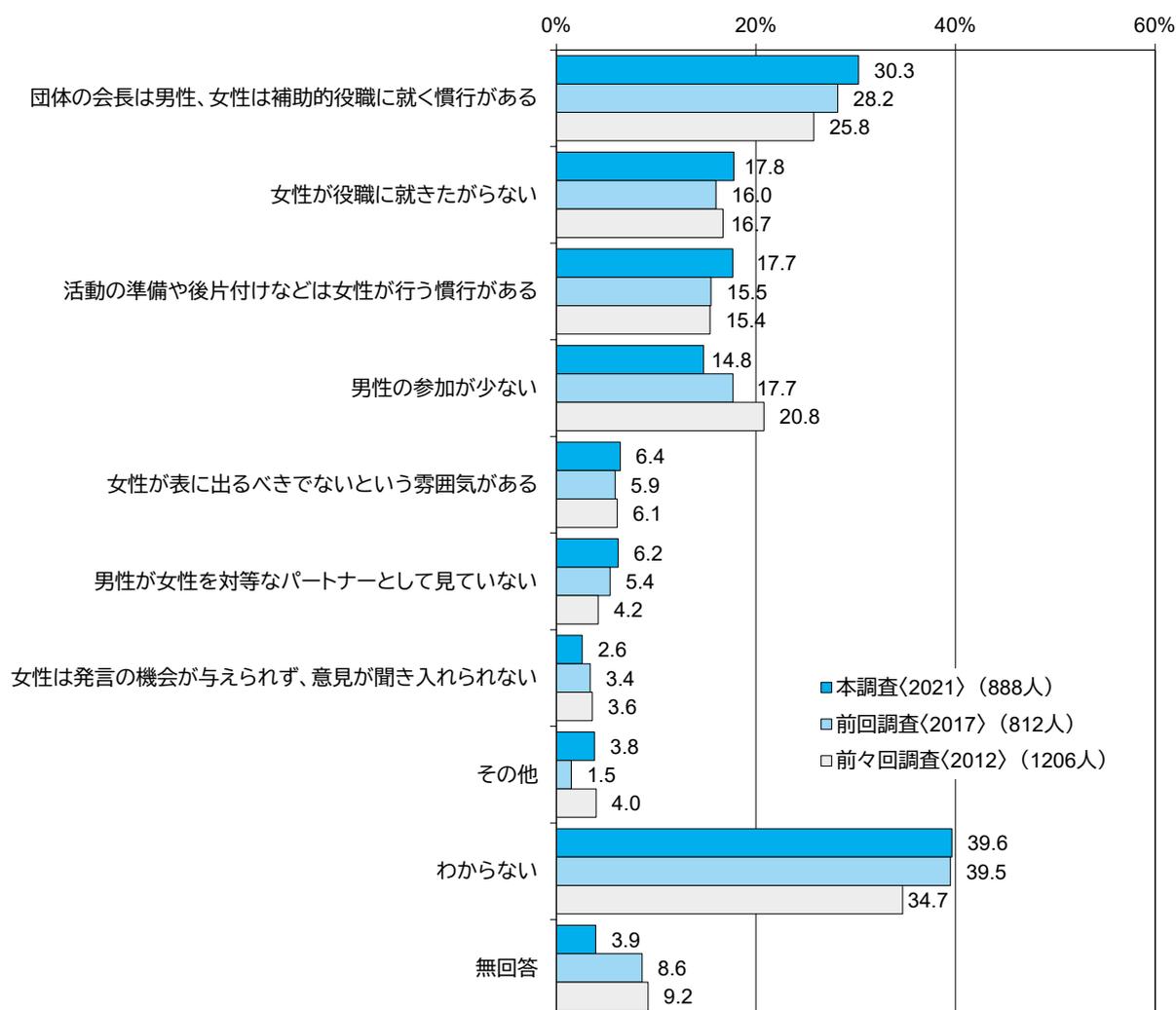
### 問17 地域活動での男女共同参画について

町内会、ボランティアなどの「地域活動」での男女共同参画についてどのように思いますか。  
(複数回答)

◆「わからない」が約4割で最も高く、次いで「会長は男性、女性は補助役職に就く慣行がある」が3割以上

◆過去2回の調査と比較して大きな変化は見られない

【全体/前回・前々回との比較】(複数回答)



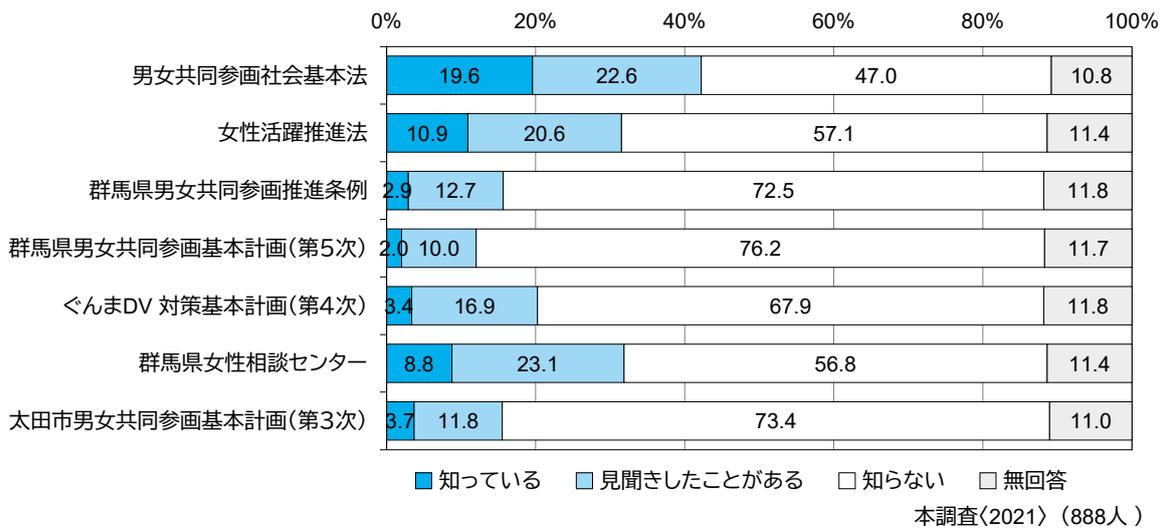
## 問18 男女共同参画推進のための法律・制度・事業の認知状況

あなたは、男女共同参画推進のための、次の法律や制度や事業を知っていますか。  
(各1つ回答)

◆すべての項目で「知らない」が最も高い

◆認知度は「男女共同参画社会基本法」が4割以上、次いで「群馬県女性相談センター」「女性活躍推進法」が3割以上

【全体】(各1つ回答)

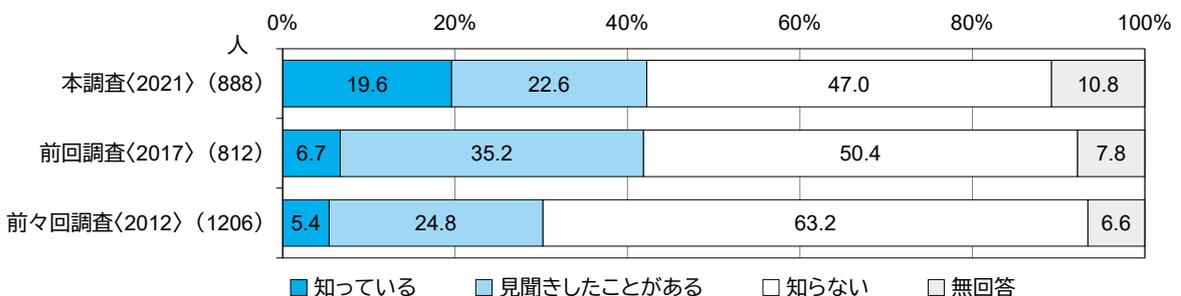


※認知度は「知っている」「見聞きしたことがある」を合わせた値

### ①男女共同参画社会基本法

◆認知度は4割以上で、前々回より高く、前回と同程度

【全体/前回・前々回との比較】(1つ回答)

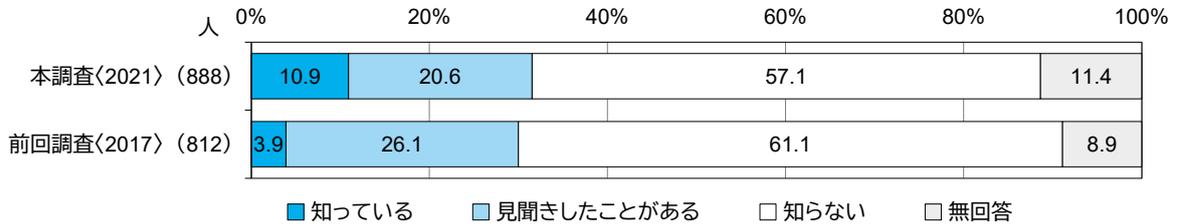


※前回調査は「聞いたことがある」「内容を知っている」「知らない」、前々回調査は「名前を聞いたことがある」「内容を知っている」「知らなかった」として設定

## ②女性活躍推進法

### ◆認知度は3割以上で、前回と同程度

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

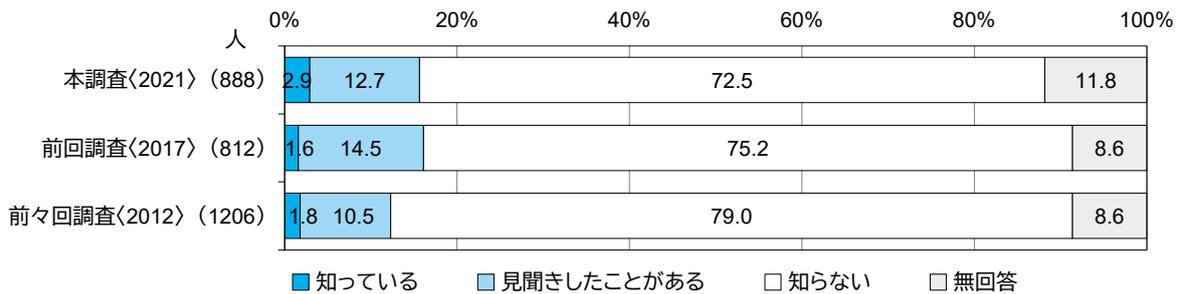


※前回調査から設定。前回調査は「聞いたことがある」「内容を知っている」「知らない」として設定

## ③群馬県男女共同参画推進条例

### ◆認知度は1割以上で、過去2回の調査と同程度

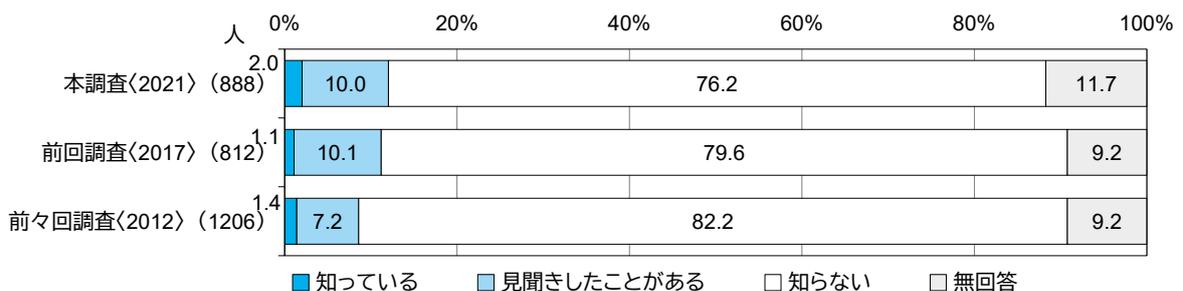
【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



## ④群馬県男女共同参画基本計画（第5次）

### ◆認知度は1割以上で、過去2回の調査と同程度

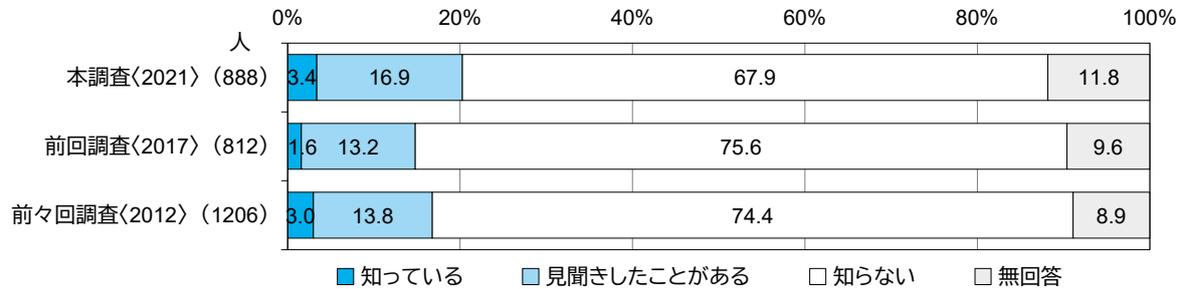
【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



## ⑤ぐんま DV 対策基本計画（第4次）

### ◆認知度は2割以上で、過去2回の調査と同程度

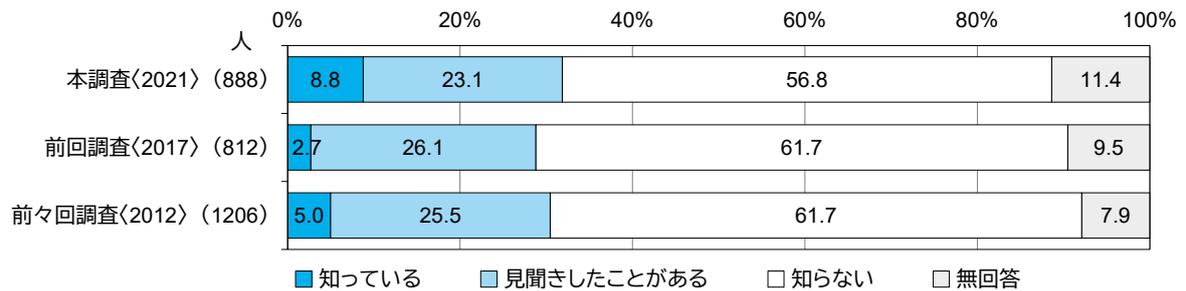
【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



## ⑥群馬県女性相談センター

### ◆認知度は3割以上で、過去2回の調査と同程度

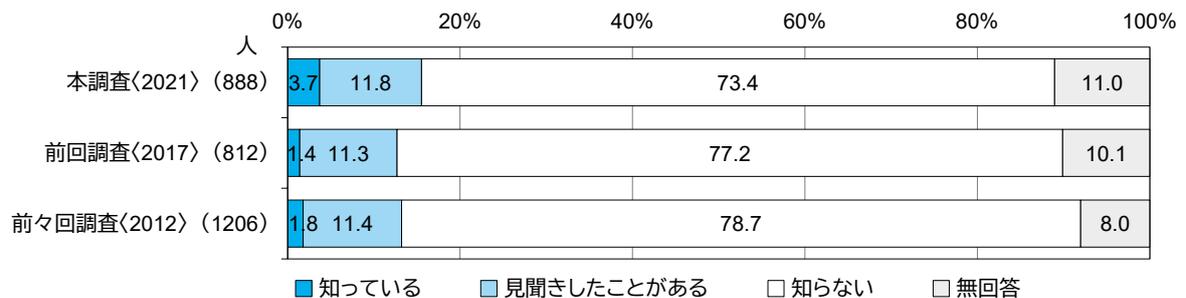
【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



## ⑦太田市男女共同参画基本計画（第3次）

### ◆認知度は1割以上で、過去2回の調査と同程度

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



## 5. 女性に対する暴力の防止・被害者支援について

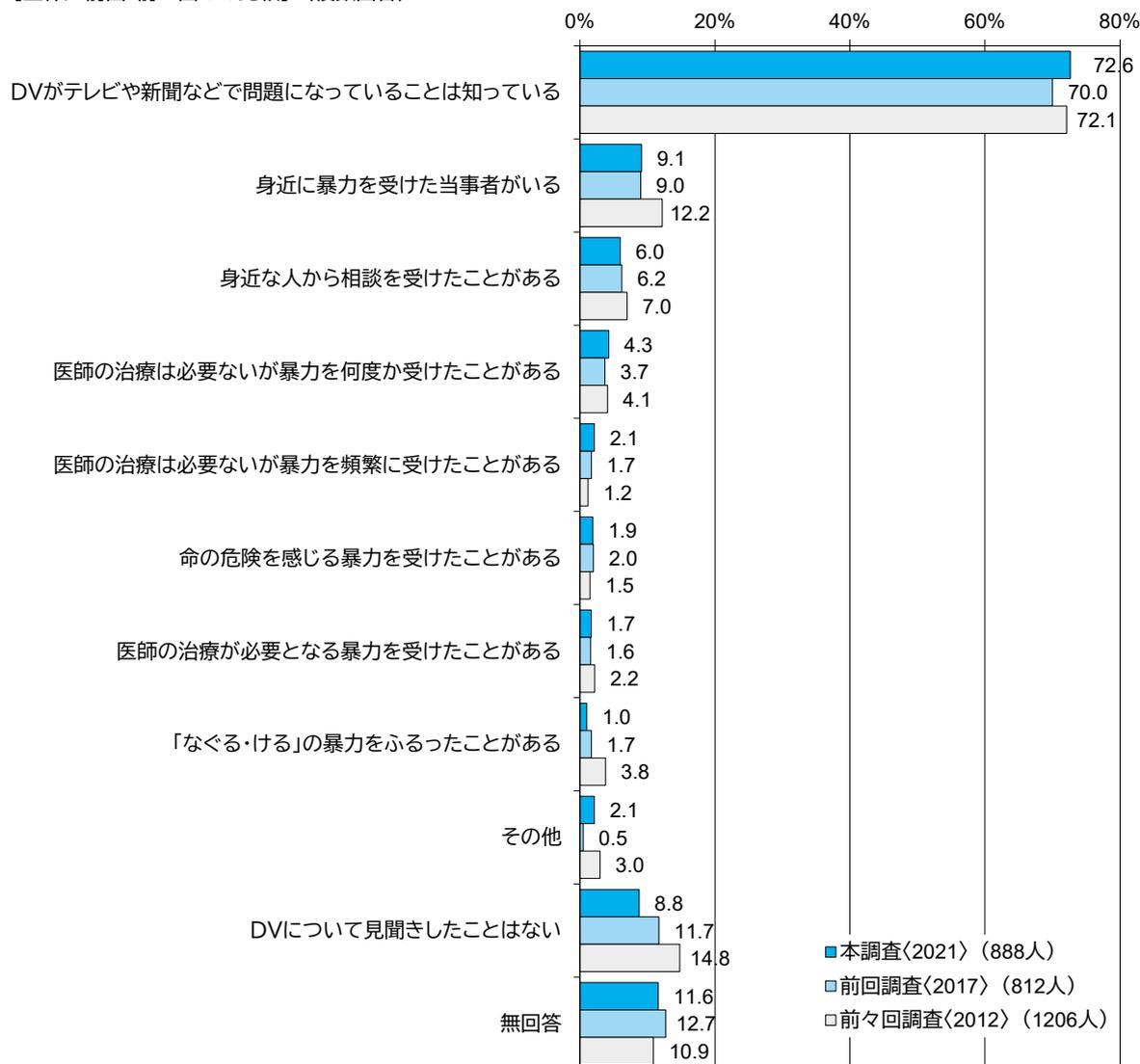
### 問19 DV 経験・身近で見聞き等の有無

ドメスティック・バイオレンス（DV）の被害者は多くの場合、女性です。  
あなたはDVを経験したり身近で見聞きしたことがありますか。（複数回答）

◆「テレビや新聞などで問題になっていることは知っている」が7割以上で特に高い

◆過去2回の調査からの大きな変化は見られない

【全体／前回・前々回との比較】（複数回答）



## 問20 配偶者や恋人等から受けた暴力について相談の有無

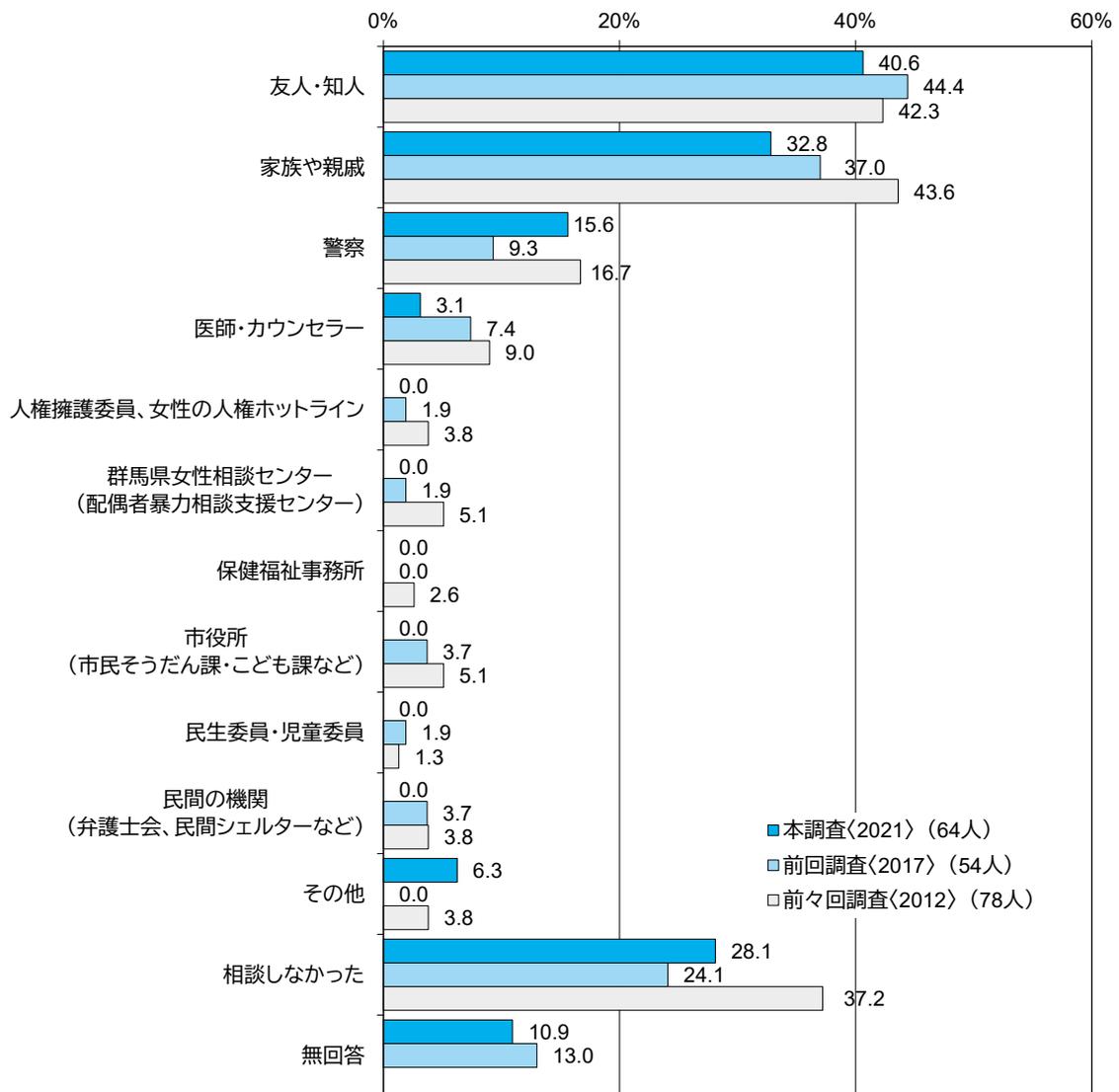
あなたは配偶者や恋人などから受けた暴力について、相談したことがありますか。(複数回答)

問19で「命の危険を感じる暴力を受けたことがある」「医師の治療が必要となる暴力を受けたことがある」「医師の治療は必要ないが暴力を頻繁に受けたことがある」「医師の治療は必要ないが暴力を何度か受けたことがある」の選択者のみ

◆「友人・知人」が約4割で最も高く、次いで「家族や親戚」「相談しなかった」が約3割

◆過去2回の調査と比較して大きな変化は見られない

【全体/前回・前々回との比較】(複数回答)



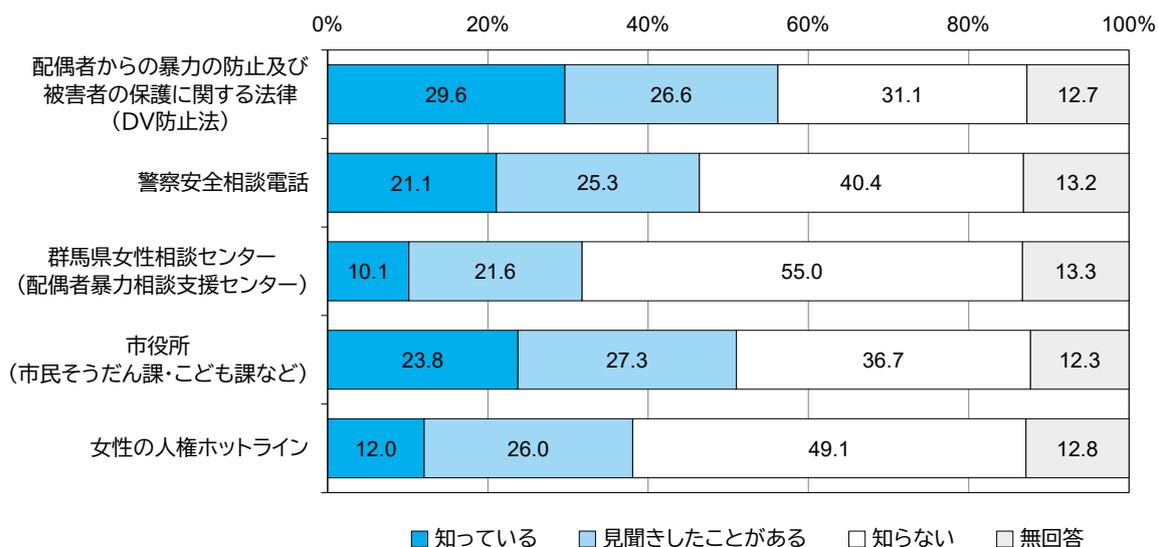
※本調査では「人権擁護委員、女性の人権ホットライン」「群馬県女性相談センター(配偶者暴力相談支援センター)」「保健福祉事務所」「市役所(市民そうだん課・こども課など)」「民生委員・児童委員」「民間の機関(弁護士会、民間シェルターなど)」は回答が見られない

## 問21 DVに関する法律やDV被害者のための相談機関の認知状況

あなたは次にあげる、DVに関する法律やDV被害者のための相談機関を知っていますか。  
(各1つ回答)

- ◆すべての項目で「知らない」が最も高い
- ◆認知度は「DV防止法」「市役所」が5割以上

【全体】(各1つ回答)



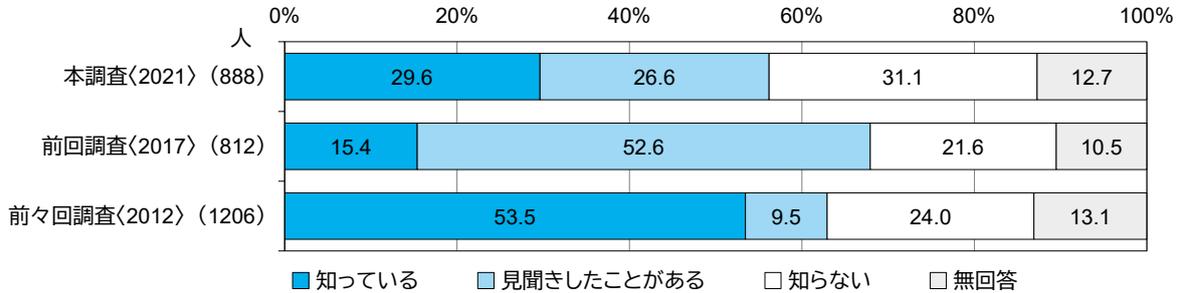
本調査(2021) (888人)

※認知度は「知っている」「聞き見たことがある」を合わせた値

## ①配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）

### ◆認知度は5割以上で、過去2回の調査より低い

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

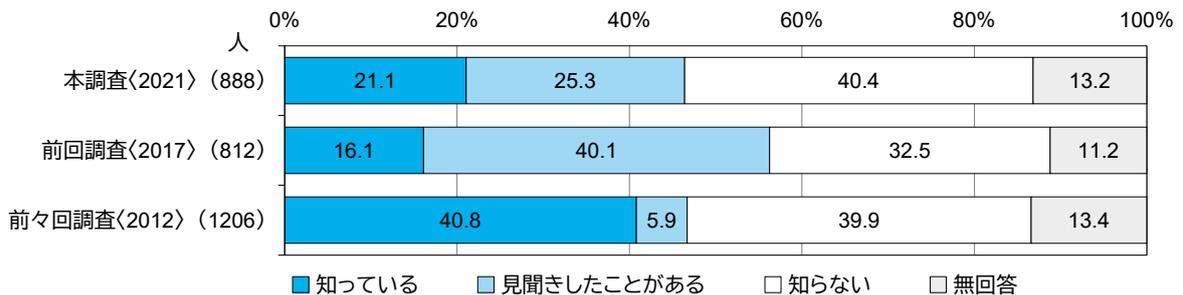


※前々回調査は「名前を聞いたことがある」「内容を知っている」「知らなかった」として設定

## ②警察安全相談電話

### ◆認知度は4割以上で、前回より低く、前々回と同程度

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

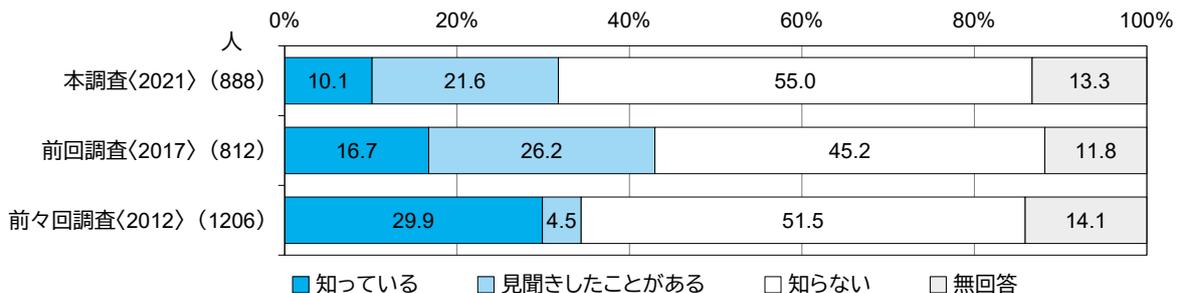


※前々回調査は「名前を聞いたことがある」「内容を知っている」「知らなかった」として設定

## ③群馬県女性相談センター（配偶者暴力相談支援センター）

### ◆認知度は3割以上で、前回より低く、前々回と同程度

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

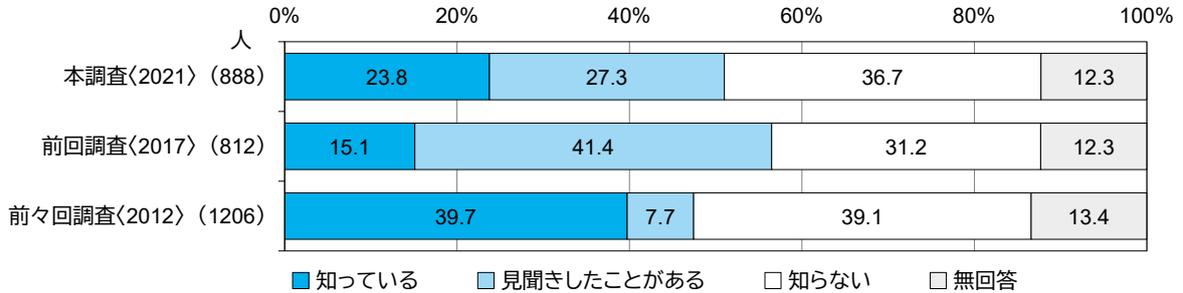


※前々回調査は「名前を聞いたことがある」「内容を知っている」「知らなかった」として設定

#### ④市役所（市民そうだん課・こども課など）

##### ◆認知度は5割以上で、過去2回の調査と同程度

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）

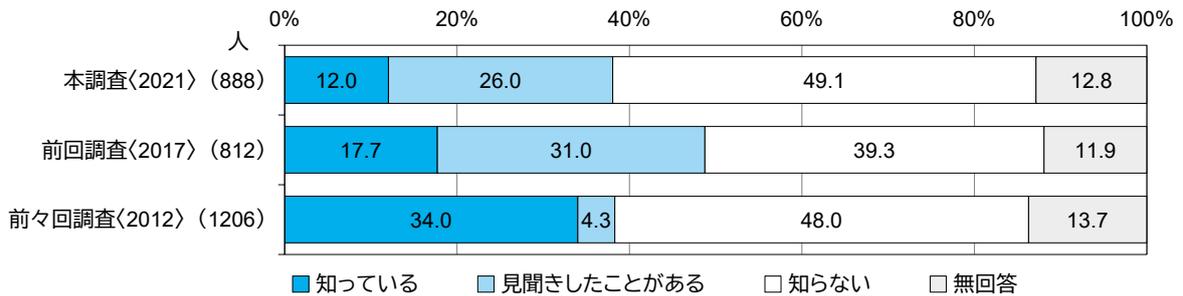


※前々回調査は「名前を聞いたことがある」「内容を知っている」「知らなかった」として設定

#### ⑤女性の人権ホットライン

##### ◆認知度は約4割で、前回より低く、前々回と同程度

【全体／前回・前々回との比較】（1つ回答）



※前々回調査は「名前を聞いたことがある」「内容を知っている」「知らなかった」として設定

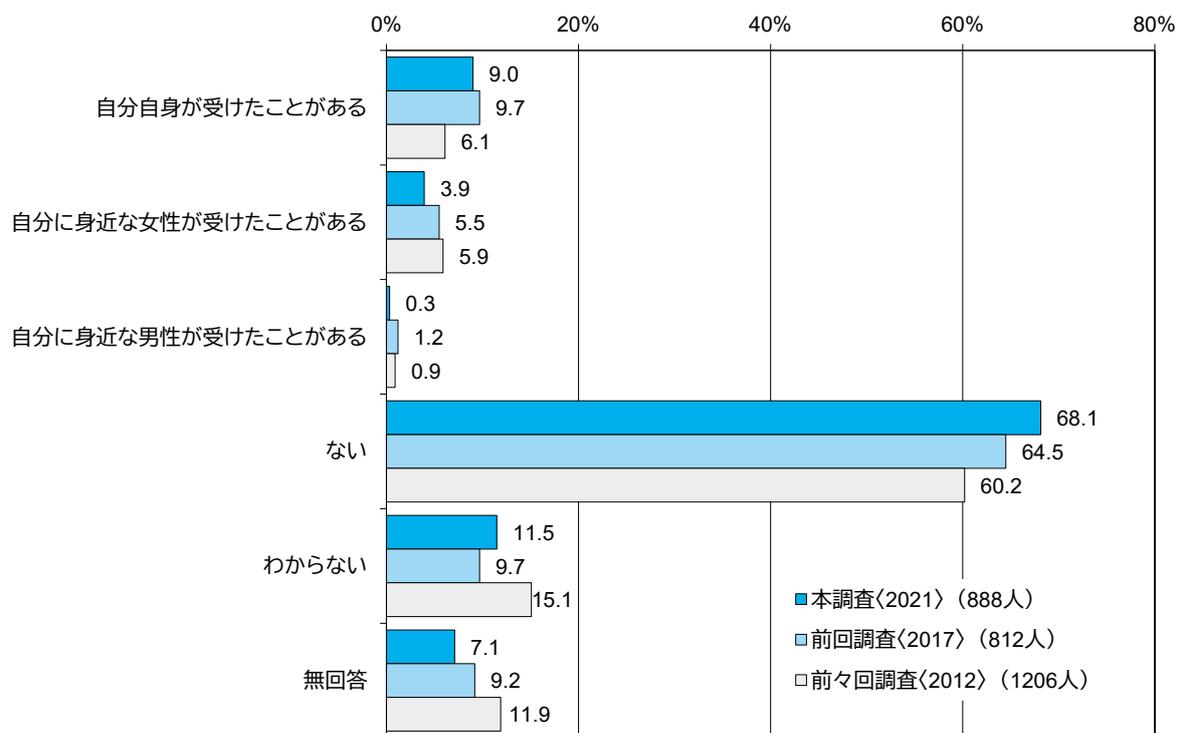
## 問22 セクシュアル・ハラスメントの有無

あなた自身または身近でのセクシュアル・ハラスメントについてお答えください。(1つ回答)

◆「ない」が約7割で最も高く、次いで「わからない」「自分自身が受けたことがある」が約1割

◆過去2回の調査からの大きな変化は見られない

【全体/前回・前々回との比較】(1つ回答)



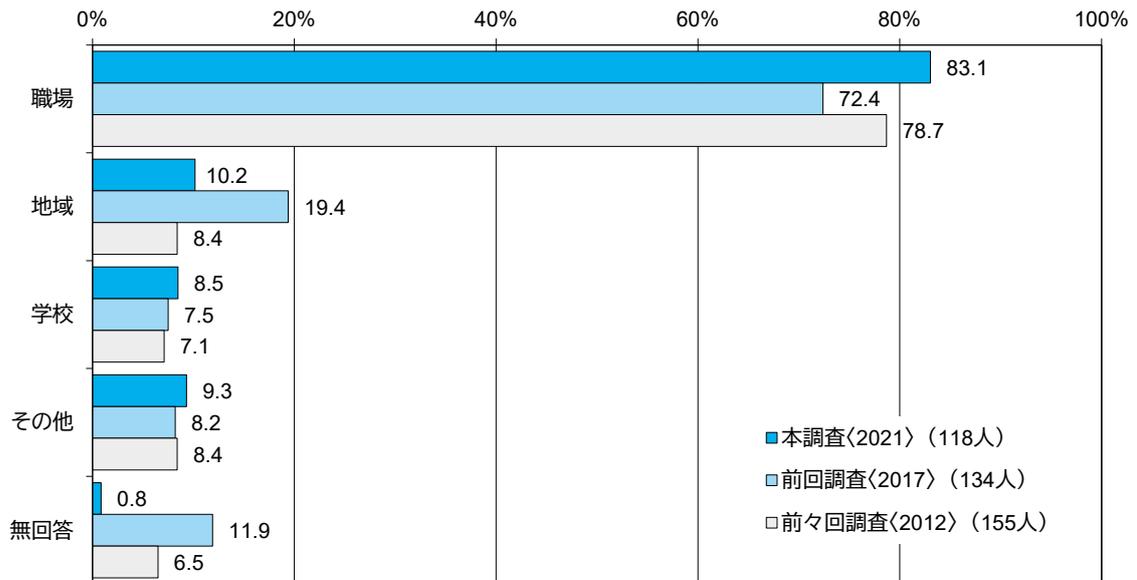
## 問23 セクシュアル・ハラスメントが行われた場所

そのセクシュアル・ハラスメントはどこで行われましたか。(複数回答)

問22で「自分自身に受けたことがある」「自分に身近な女性が受けたことがある」「自分に身近な男性が受けたことがある」の選択者のみ

- ◆「職場」が8割以上で特に高く、過去2回の調査より高い
- ◆次いで「地域」が1割以上で、前回より低く、前々回と同程度

【全体/前回・前々回との比較】(複数回答)



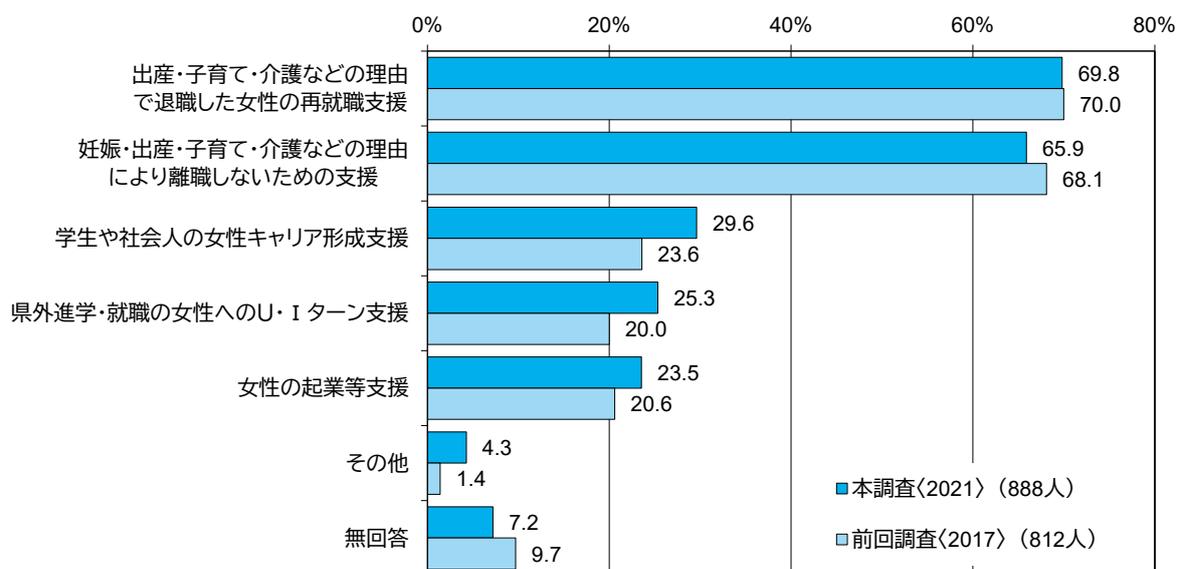
## 6. 男女共同参画社会の形成について

### 問24 「女性が輝く社会」を実現するために太田市に望むこと

「女性が輝く社会」を実現していくために太田市に対してどのようなことを望みますか。  
(複数回答)

- ◆ 「女性の再就職支援」「離職しないための支援」が約7割で同程度に高い
- ◆ 前回からの大きな変化は見られない

【全体／前回との比較】(複数回答)



※前回調査から設定

### 問25 「男女共同参画社会」を実現していくために太田市に望むこと

「男女共同参画社会」を実現していくために、太田市に対してどのようなことを望みますか。ご意見・ご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。(自由記述)

- ➡ 別冊「自由回答報告書」に示します。